

地域アンケート結果（坂下中学校区）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり地域の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年6月26日（木）から7月13日（日）まで
対象者	坂下中学校区（坂下小、西尾小、神屋小学校区）の住民
実施方法	インターネットアンケート
回答数	102人（坂下小：46人、西尾小：18人、神屋小：38人）

1	お住まいの小学校区を選択してください。
2	あなたの年齢を選択してください。
3	あなたは、小中学校の児童生徒の保護者、未就学児の保護者を対象に実施したアンケートにご協力いただきましたか。

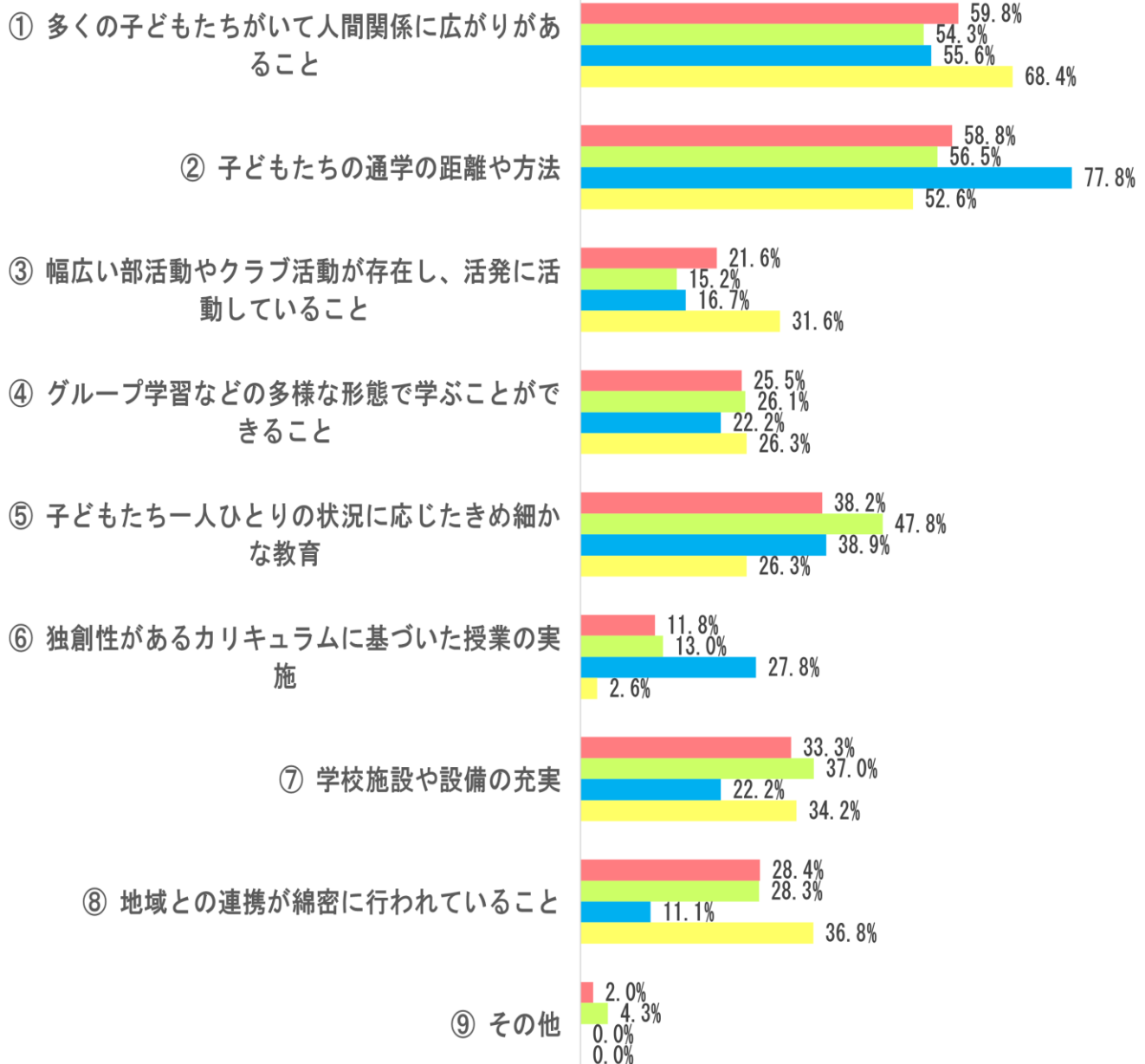
学校区	回答数	回答数の年代別内訳							保護者アンケート 回答の有無
		20歳以下	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳以上	
坂下小	46人	0人	1人	8人	5人	14人	12人	6人	はい：8人 いいえ：38人
西尾小	18人	0人	0人	4人	0人	6人	4人	4人	はい：1人 いいえ：17人
神屋小	38人	0人	2人	6人	4人	10人	3人	13人	はい：8人 いいえ：30人
計	102人	0人	3人	18人	9人	30人	19人	23人	はい：17人 いいえ：85人

地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

3校ともに「① 多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」、「② 子どもたちの通学の距離や方法」が多く選ばれています。

■ 中学校区全体 ■ 坂下小学校 ■ 西尾小学校 ■ 神屋小学校



「⑨ その他」の回答

◆坂下小

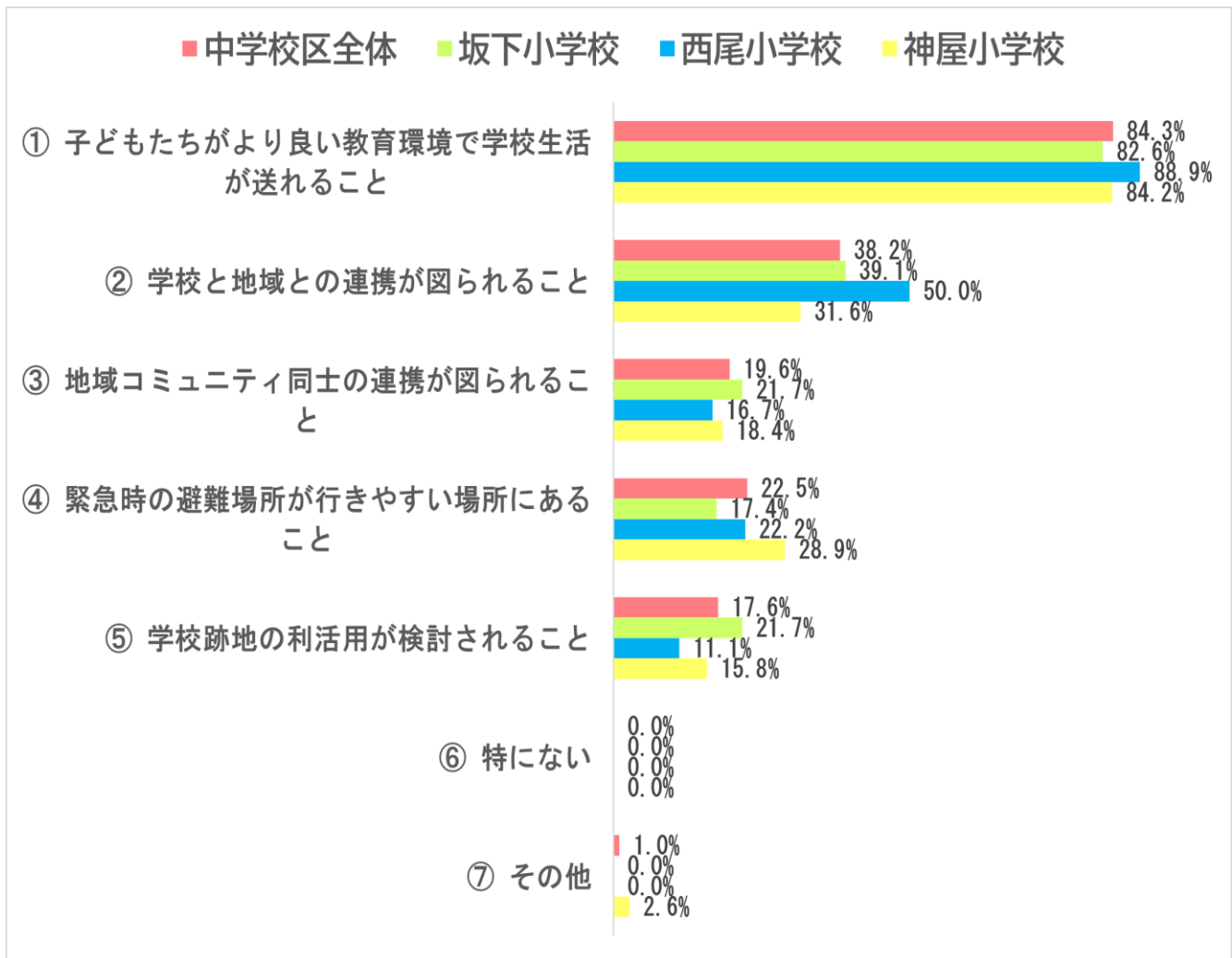
- ・あらゆる安全
- ・デジタル化が進みすぎるのは、子どもたちにとってあまり良いものとは思えない。

学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって、重要と思うことを次の項目から選択してください。(2つまで)

●回答結果の概要

3校ともに「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活が送れること」が多く、次いで「② 学校と地域との連携が図られること」が多く選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、西尾小は②を選んだ方の割合が高くなっています。



「⑦ その他」の回答

◆神屋小

- ・校区制度にかかる規制を緩和し、保護者や児童生徒本人が希望すれば別の校区の学校へ通えるよう制度を調整する。

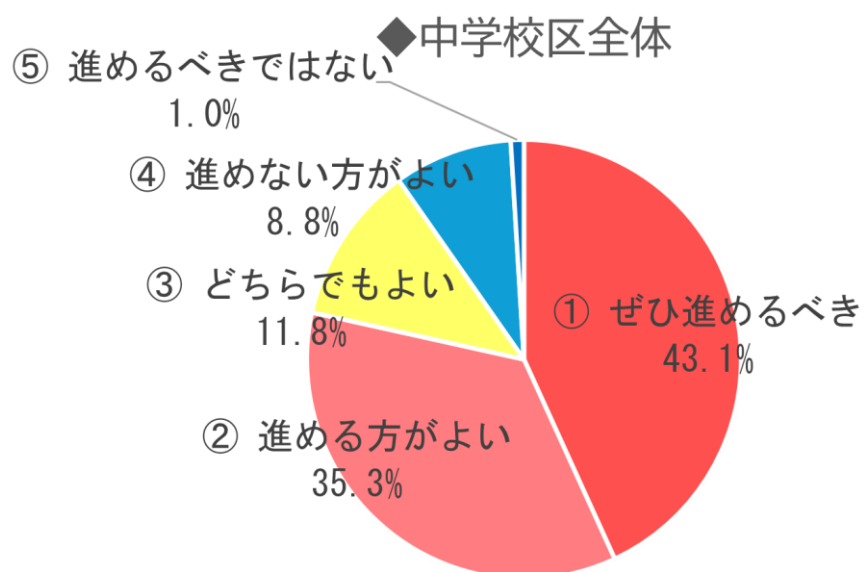
市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

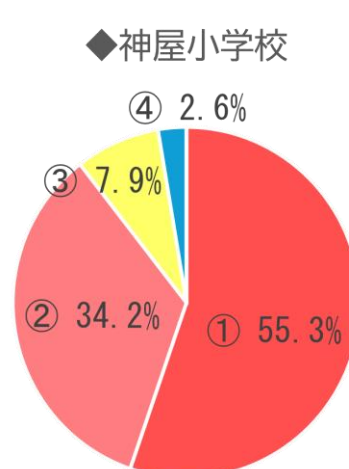
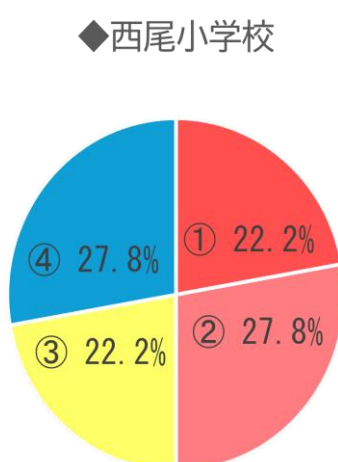
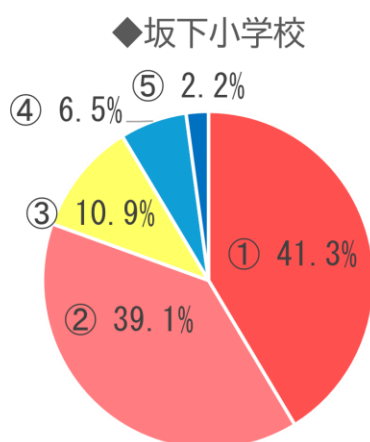
78.4%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

9.8%の方が「④ 進めないほうがよい」又は「⑤ 進めるべきではない」と考えています。

①又は②と回答した方の割合は、対象の12校の中で、神屋小(89.5%)は最も高く、坂下小(80.4%)は3番目に高くなっています。西尾小(50.0%)は最も低い割合となっています。



■ ① ぜひ進めるべき ■ ② 進める方がよい ■ ③ どちらでもよい ■ ④ 進めないほうがよい ■ ⑤ 進めるべきではない



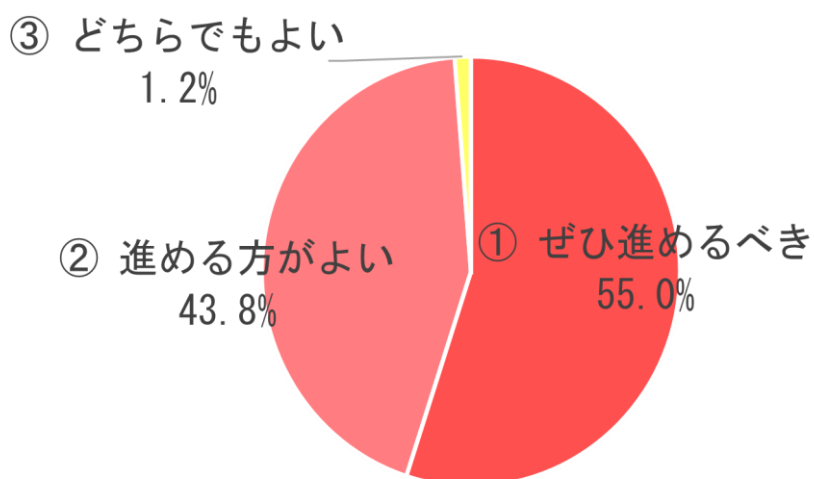
6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。
(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の98.8%が、「お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むこと」に賛成しています。

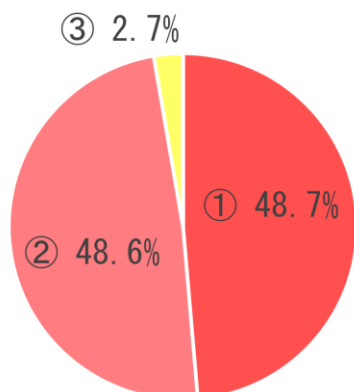
6の質問で①又は②を選んだ方のうち、「③ どちらでもよい」を選んだ方は、坂下小で1人です。「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

◆中学校区全体

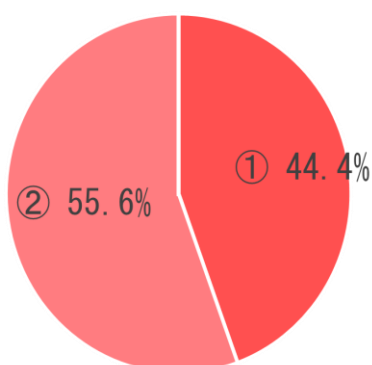


■ ① ぜひ進めるべき ■ ② 進める方がよい ■ ③ どちらでもよい ■ ④ 進めない方がよい ■ ⑤ 進めるべきではない

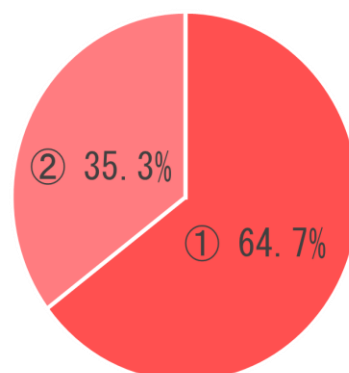
◆坂下小学校



◆西尾小学校



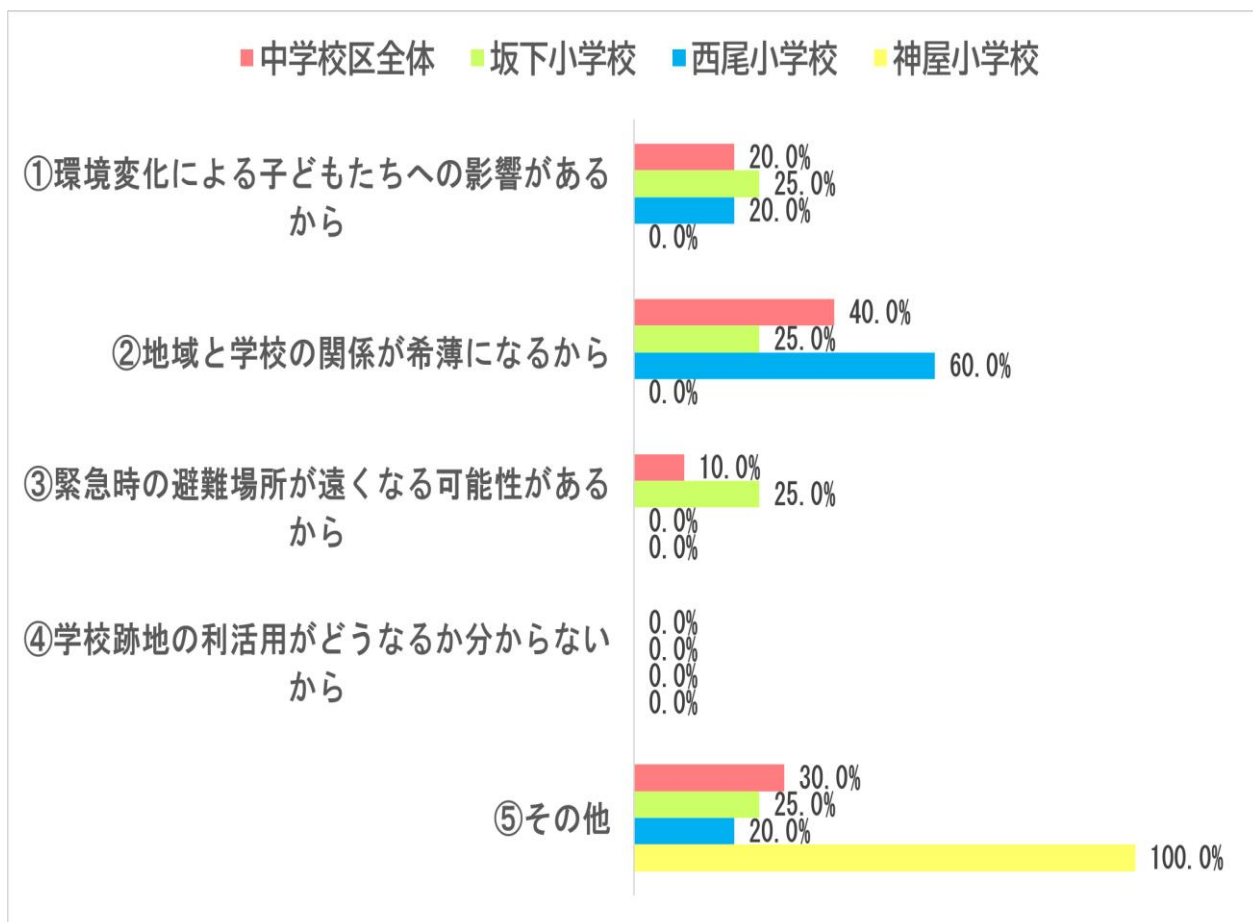
◆神屋小学校



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は10人で、「② 地域と学校の関係が希薄になるから」が最も選ばれています。



「⑤ その他」の回答

◆坂下小

- ・少人数でも良いところがあるから

◆西尾小

- ・最重要となるきめ細かな教育の徹底をはかる上で、小規模校は最適

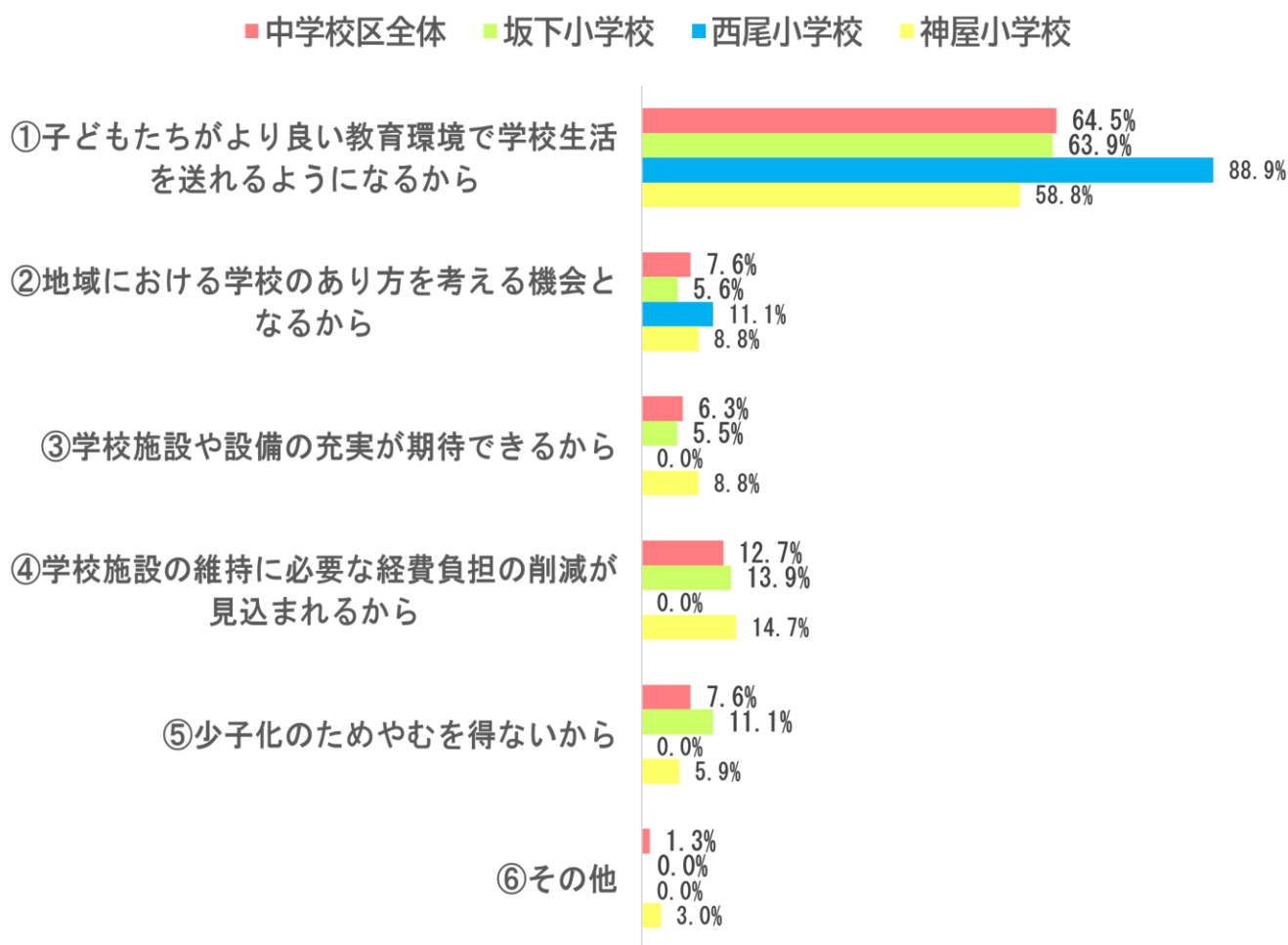
◆神屋小

- ・通学の距離 その方法 通学バス？

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れるようになるから」を選んだ方が最も多く、地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、特に西尾小は割合が高くなっています。



「⑥ その他」の回答

◆神屋小

・教員不足が深刻な状況にある中で、学校1校に必ず校長 教頭 主幹教諭 TTなどの配置が必要になる。

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

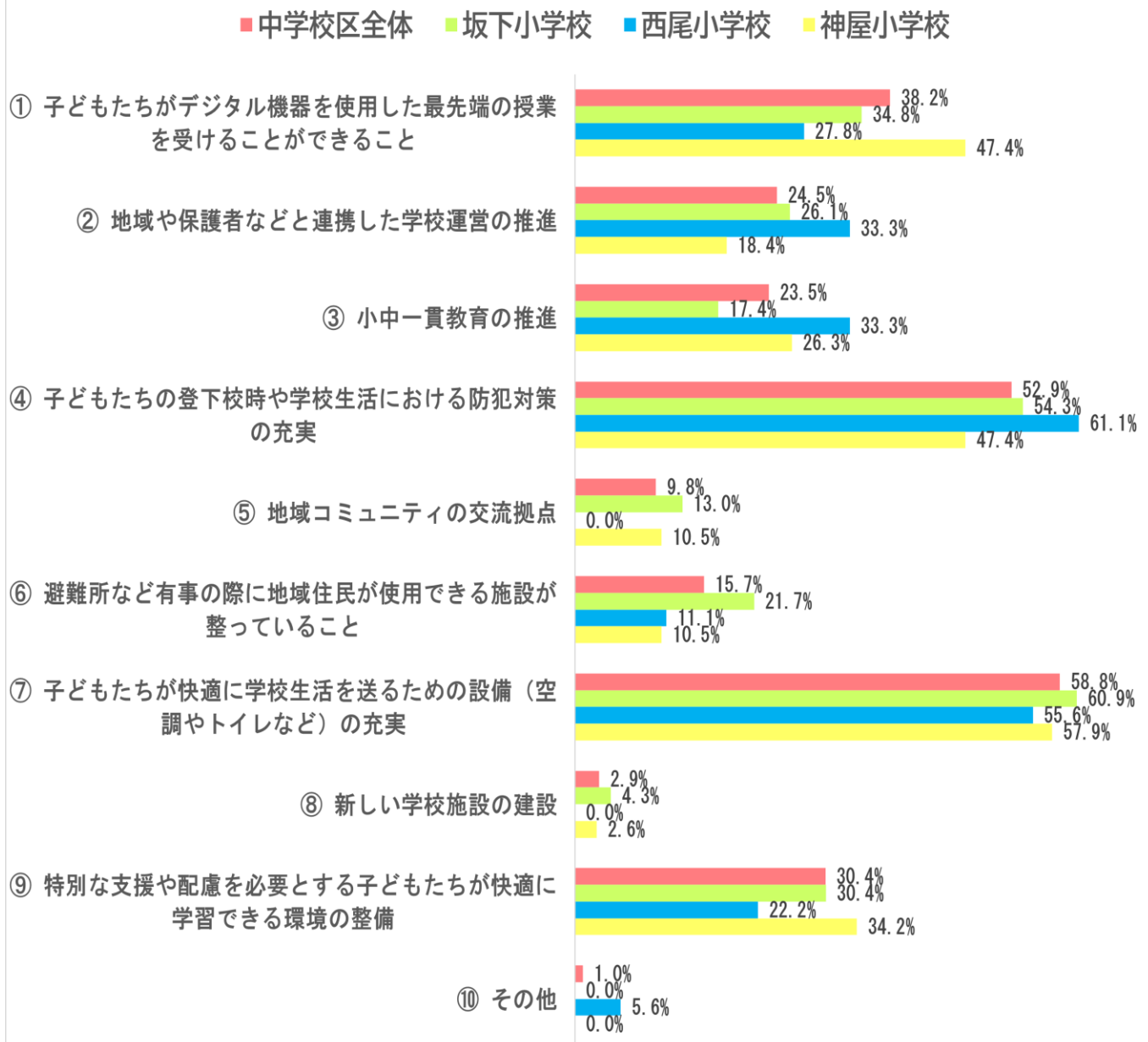
●回答結果の概要

7-1の質問で、「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方がいなかったため、回答者はいません。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「⑦ 子どもたちが快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」、「④ 子どもたちの登下校時や学校生活における防犯対策の充実」、「① 子どもたちがデジタル機器を使用した最先端の授業を受けることができること」の順に選ばれています。



「⑩ その他」の回答

◆西尾小

・まず、教育者のレベルや意識が極めて高いこと、全てはこれにつきます。施設、教育機材（デジタル機器）、保護者・コミュニティとの関わり等は二の次です。デジタル機器等は教える側の情報技術に関する見識と高いスキルが求められます。これらに対し教員は強い興味を持って自ら分け入る気概を有しているなど、教員は須く世の中の全てのことに興味を持ち、その溢れる程のものを子供たちに教える....これらがまず満足される必要があろうと思います。

◆坂下小（15 件）

うち、学校教育（3 件）、通学（6 件）、学校設備（2 件）、地域（1 件）、その他（3 件）

学校教育について

- ・デジタル機器の使用は長短があると思うので デジタルの良さを生かした適切な使用のあり方を望みます。
- ・近場の学校は、統合を進めることで、多くの子どもたちが触れ合う機会が増えていくと考えられる。
- ・自分が住んでいる地域で学校の統合が行われていこうとするとは思いませんでした。学校を統合すると拠点となる学校は今までとはあまり変わらないのかもしれませんが、それ以外の統合する側の校区は他の地域ではどうなったのか？通学の便が悪くなったり地域の人とのコミュニティの場はどうなるのか？など。統合すると他の地域ではこれだけ改善された箇所がある。こういう問題が出てきた。などが気になります。やった事がない未知のことに対して全力で賛成は中々できません。学校の先生達の配分はどうなるのか？も気になります。統合した分、学校の先生の数も多くなるのか？そうするとメリットも出てくるのかな？と思います。

通学について

- ・過疎化が進んでいる校区は、通学範囲が大きくなる事で、子供達の通学手段に配慮する必要性があると思う。又、児童、生徒が少ない地区に若者が移住して来れる様な施策も必要かと思います。
- ・楽に学校に通えるようにしてほしい。また子どもたちが楽しく学べる環境作りをしてほしい。
- ・私が坂下の頃、神屋小ができた。坂中の同窓会があったとき、神屋小の子が坂小に通っていたときは、荷物が重くて大変だった。友達が持ってきて助かった。と話していた。今後は西尾、神屋、坂下は集約せざるを得ないと思うが、通学バスを出すなど、安全、利便性に配慮をお願いしたい。
- ・他校の子と一緒にすることは子どもたちにとって不安があります。それを解消することと、通学方法についてしっかり検討してほしいです。
- ・通学の安全性（通学する子供と、例えば通学路を走る運転手にとっても）。
- ・通学路で車道と歩道を必ず分けるべき。

学校設備について

- ・お手洗いの老朽化がとても気になります。新しいお手洗いへと設備が整うことを切に願います。
- ・運動会の際に、外のトイレが和式タイプのものしかなく、今の子どもたちは慣れていないので使用するのを嫌がり水分を取りたがらない様子を見かけました。1 つでも、洋式トイレの設置をして頂きたいと思います。

◆坂下小

地域について

- ・学校の規模や配置を見直すことは止むを得ないと考えますが、廃校となる学校の周辺地域は（近くに学校がないという意味で）子育てには向かない地域となって若い人に魅力的ではなくなり、ますます高齢化が進むことが予想されます。春日井市には、各地域のコミュニティの年齢構成の格差が、（拡大するのではなく）小さくなるような学校の統廃合をお願いしたいです。課外活動の地域移行をしやすいのは時間的に余裕のある高齢者が多く住む地域だと思います。教育の経験や関心のある高齢者が学校に顔を出しやすい仕組みづくりが必要かと思います。

その他

- ・移民受け入れが進んできている中、子どもたちの安全を第一に考えて頂きたいです。いつも市民のために動いて下さり、ありがとうございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。
- ・多くの施設を持ち、それらをメンテナンスしていかなければならない中、市の財政の適正化にも関係してきます。当時と交通など社会状況は全く異なるものの、150年前は市内に3つしかなかった小学校の状況に戻るだけのことで、このアンケート結果を尊重しつつも、市の考えで統廃合を進めてほしい。
- ・働く女性が多い。坂小 現在2年 学童が1、2年迄とか、、、もう一年預けたらいいね、と親同士の話を耳にしました。小さい子を持つ親は、心配ですね。

◆西尾小（8件）

うち、学校教育（2件）、通学（2件）、学校設備（0件）、地域（1件）、その他（3件）

学校教育について

- ・自分の子供で少人数学級で良くない経験しました。進めた方が良くと思います。ただ、多人数の学校へ移るのか？登校方法はどうなるか、安全に平等に出来るのか？色々な心配があります。
- ・わが国が再び世界各国から賞賛される様な国となる.....これはこれからを担う子供たちの教育にかかっていると確信しています。

通学について

- ・1.大規模な統合化は、通学距離が広くなると通学手段の負担がかかり不登校の発生確率が多くなる。負のリスクの検討が必要。理由は、スクールバス、名鉄バス等の負担。保護者(仕事している人)の送迎負担。2.坂下中学校区では、坂下中学校へ坂小学校、神屋小学校、坂下小学校を統合化する案が望ましい。ただし、坂下中学校の大規模な改築、移転が必要。3.統合化には、反対する保護者が多く発生するが、覚悟を持って行わないと中途半端な統合となることが想定される。
- ・地域の経済格差なども考慮に入れて検討してもらいたい。後は、通学上の安全確保、熱中症対策、も重要課題とし検討して欲しい。

地域について

- ・西尾小出身で子供達も西尾小を卒業しました。この地域は校区が広い割に人口は少なく、密接なコミュニティがあります。成人してから残る人や戻るのが少なくありません。なので学校行事等を通して幼い時期から地域との密接な繋がりが重要だと感じています。

その他

- ・機械的に通学路の変更や統廃合を進めるのはやめていただきたいです。それぞれの学校で、色々な方の思いがあります。廃校になる学校の跡地利用も含め、どの立場の人でも前向きになれるような配慮をお願いしたいです。
- ・親子孫3代通学した学校がなくなるのは悲しい。
- ・西尾小学校を残してください。

◆神屋小（10 件）

うち、学校教育（4 件）、通学（2 件）、学校設備（0 件）、地域（0 件）、その他（4 件）

学校教育について

- ・「特別支援」的な配慮が必要な児童生徒とその保護者に向けて、制度や事例を案内する WEB サイトを制作・公開するなど情報提供の拡充が必要。どうしたらよいかわからない親が多いため。
- ・学校ごとに支援級が配置され 通級という選択もできていると思うが支援級が 1 クラスだけで、通う子供の特性学力関係なく 1 クラスしかない事が問題だと思う。支援級に通うほどではないが問題を抱える子供が普通のクラスに在籍すると些細なことで問題が起こり授業が中断したり問題解決の為に担任が時間を割かれたり負担が大きいという現実を見聞きする。そういう子供達に手厚く支援が届くように支援級を学力に応じて増やすとか普通クラスに置く場合には補助の教員を配置するなどきめ細やかな対応をお願いしたい。
- ・学校は子ども達が、家と同じくらい長い時間過ごす場所です。規模が変わっても、子ども達が元気で幸福に過ごせる居場所であるようにと願っております。
- ・目に見えてこれから学級数が減っていくと分かっているなら早めに対応すべき。そもそも対応するのが遅いと思う。そして、タブレット教育を見直したほうがいいと思う。目への負担や海外では学力低下したという記事をみつけました。タブレットの管理は親、子どもにも負担だとは思う。

通学について

- ・西尾小学校を農業体験宿泊施設や体育館や運動場を活用したスポーツ宿泊施設にするのはどうか。古くなった坂下小学校を建て替えて、坂下、神屋、西尾で小学校をまとめ、坂下中学校はそのまま維持。遠方者の登下校にはスクールバスを使用。（地域の方も乗れると良いかも）。
- ・登下校時に挨拶してくれる子が増えました。これも地域での活動か学校でのご指導か親の育て方かはわかりませんが朝はとても爽やかな気分です。

その他

- ・細々小学校は今の時代にはいらない。統合すべき。
- ・神屋小学校や西尾小学校は生徒が少なく、神屋小と坂下小は距離がとても近い。どちらにしろ中学で 3 校一緒になるのに 3 つに分けているのは無駄に思えます。
- ・大人の都合より子供最優先でお願いします。
- ・特に無し。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp

地域アンケート結果（藤山台中学校区）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり地域の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年6月26日（木）から7月13日（日）まで
対象者	藤山台中学校区（藤山台小学校区）の住民
実施方法	インターネットアンケート
回答数	46人

1	お住まいの小学校区を選択してください。
2	あなたの年齢を選択してください。
3	あなたは、小中学校の児童生徒の保護者、未就学児の保護者を対象に実施したアンケートにご協力いただきましたか。

学校区	回答数	回答数の年代別内訳							保護者アンケート 回答の有無
		20歳以下	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳以上	
藤山台小	46人	1人	0人	10人	9人	9人	9人	8人	はい：10人 いいえ：36人

地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「② 子どもたちの通学の距離や方法」、「① 多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」、「⑤ 子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」の順で選ばれています。

回答した方の多くが、通学の距離や方法、子どもの人間関係の広がりを重要と考えています。



「⑨ その他」の回答

◆藤山台小

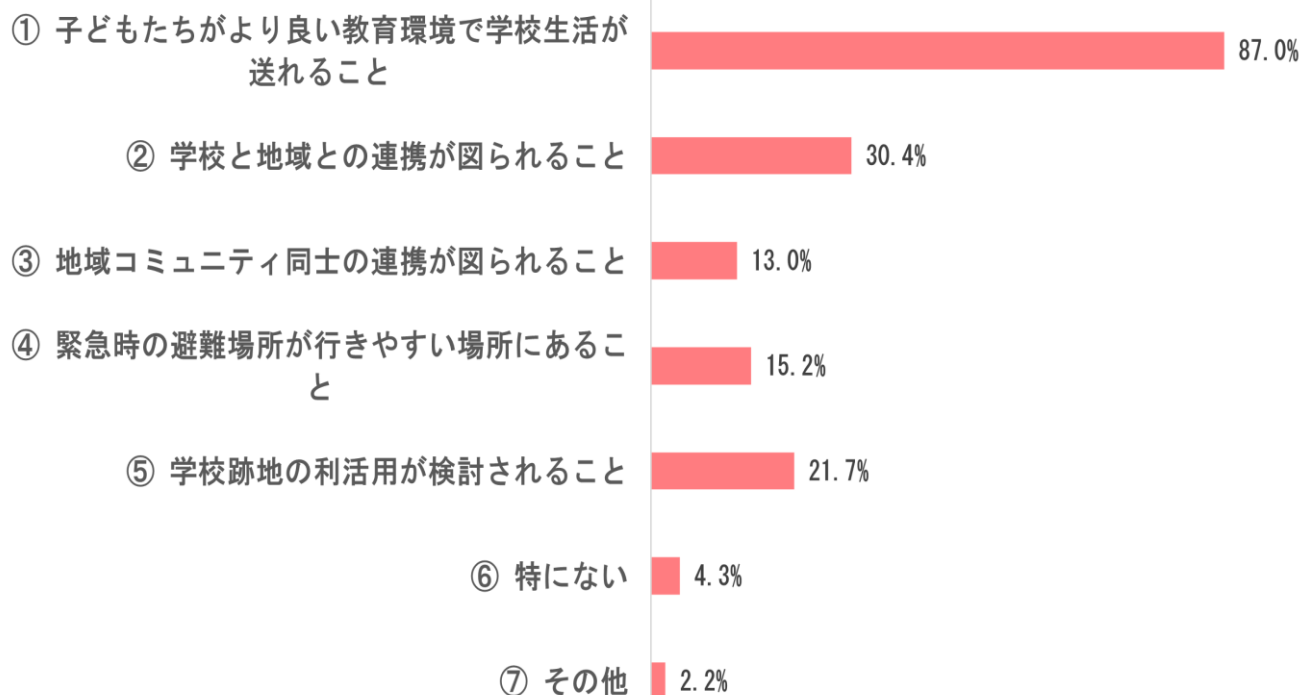
- ・ いじめをなくすことが、重要です。そのためにはどうしたらいいか考えなくてはなりません。
- ・ 一人一人の子どもの個性を認め、子どもも教員も生き生きとした教育活動の場であること。

学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって、重要と思うことを次の項目から選択してください。(2つまで)

●回答結果の概要

「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活が送れること」が最も多く選ばれています。

学校の規模や配置を見直す場合、非常に多くの方が子どもたちの教育環境の向上を重要と考えています。



「⑦ その他」の回答

◆藤山台小

- ・子どもにとっての一番身近な人的環境である教師が専門性、教育愛豊かな人であること。

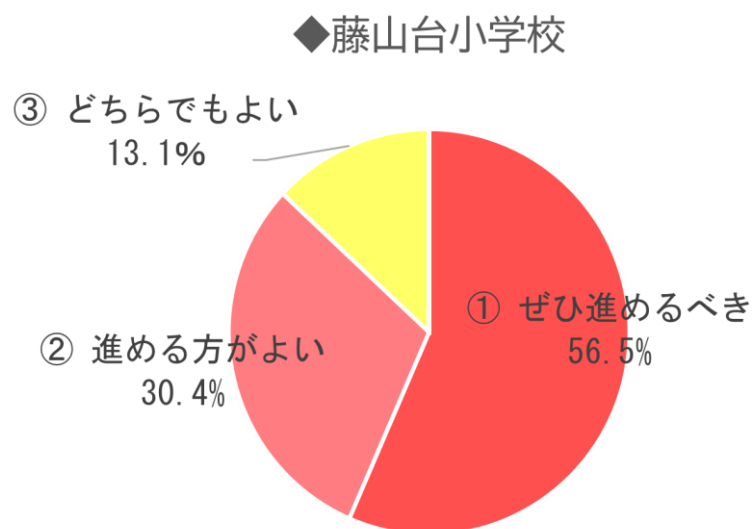
市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

86.9%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

「④ 進めないほうがよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

①又は②と回答した方の割合は、対象の12校の中で、藤山台小（86.9%）は2番目に高くなっています。



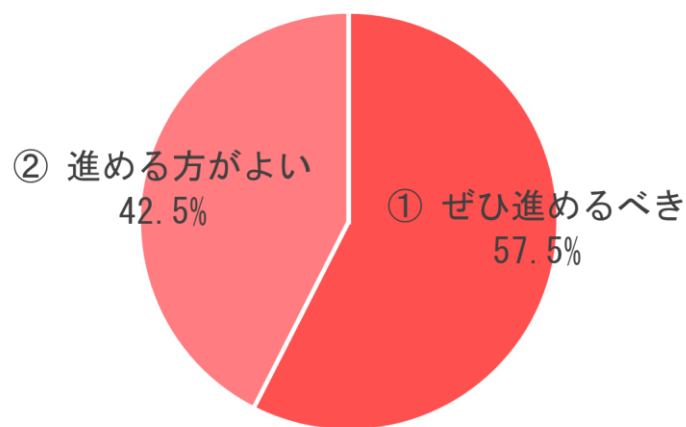
6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ全ての方が、「お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むこと」に賛成しています。

「③ どちらでもよい」、「④ 進めない方がよい」、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

◆藤山台小学校



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

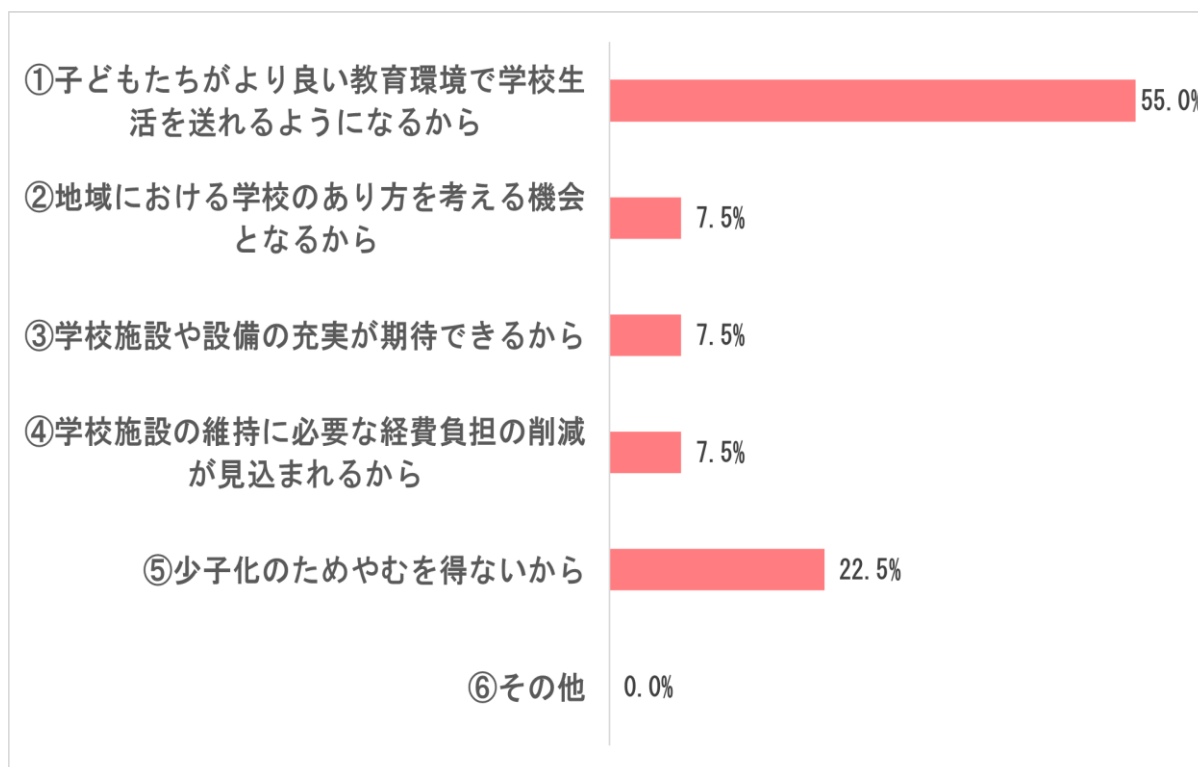
●回答結果の概要

6の質問で、「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方がいなかったため、回答者はいません。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れるようになるから」を選んだ方が最も多いです。地域アンケート結果（地域全体）と概ね同様の傾向となっています。



7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

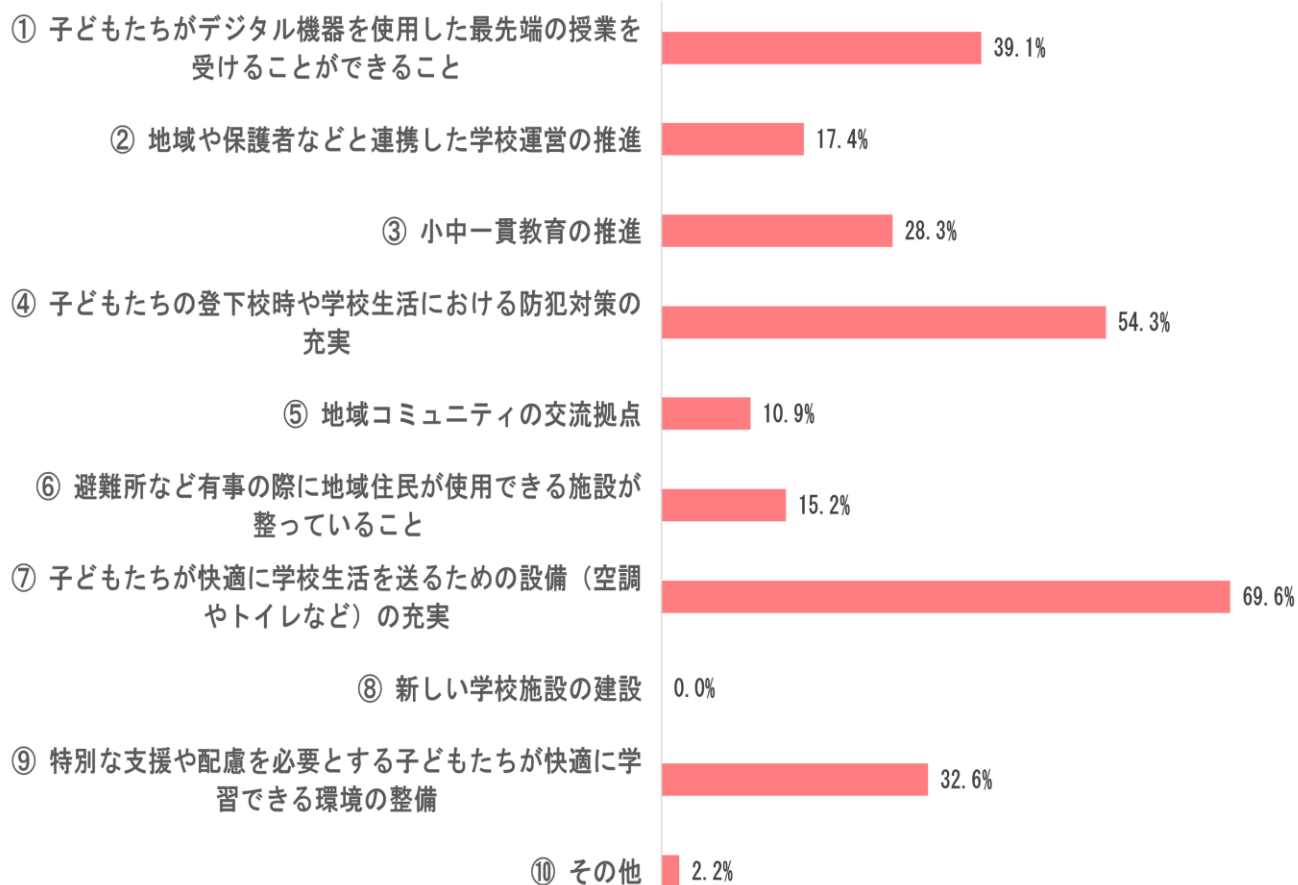
●回答結果の概要

7-1の質問で、「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方がいなかったため、回答者はいません。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「⑦ 子どもたちが快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」、「④ 子どもたちの登下校時や学校生活における防犯対策の充実」、「① 子どもたちがデジタル機器を使用した最先端の授業を受けることができること」の順に選ばれています。



「⑩ その他」の回答

◆藤山台小

- ・専門性の高い教師が、一人一人を大切にしたクラス経営、授業展開ができること。少人数学級、教師の多忙化の解消。

◆藤山台小 (19 件)

うち、学校教育 (9 件)、通学 (7 件)、学校設備 (0 件)、地域 (0 件)、その他 (3 件)

学校教育について

- ・IT、IT と言わないでほしい。小学校からデジタル機器を使いこなすことより、もっと、大人になるために人として学ぶ事がたくさんあるはず。
- ・アンケートとして、小学校と中学校をまとめて同じ回答を求めるのは適切でないと思います。小学校低学年には通学距離が、中学生には多様な人間関係の中での学びが最重要課題だと思います。また、単純に統廃合だけでなく現在の通学区域の見直しをしてはどうか。これだけで規模適正を図れるところもあると思います。
- ・近所の中学生の子の話を聞くと部活動の選択肢が、15 年ぐらい前よりかなり減っていることに驚きました。たくさん部員がいた吹奏楽部が他校と合同と聞いた時もびっくりしました。私自身、他の市ではありますが中学校の教諭を 6 年間していましたが、各学年 9 クラスから 6 クラスあり、先生も 50 名ほどいました。部活動は数もたくさんあり、運動部も文化部もそれぞれの生徒の個性にあった部活を選ぶことができました。平成の時代でしたので先生が顧問をするのは当たり前でしたが、今は先生の数も減り事務的な仕事や授業の準備など個人にかかる負担が当時よりかなり多くなっていますので、部活動の指導も先生でというのは難しい状態だと思います。地域での指導者を見つけるのも子どもたちの活動時間とその方の時間との折り合いや、また今の時代先生でも盗撮などどんな問題がおこるかわからない中、地域の方も考えたくはないことですがそのような目的で参加するような人がいたらと考えると心配になります。もちろんほとんどの方は善意からだと思いますが、先日のような事件が名古屋の小学校であるとあらゆる可能性を考えなければいけない時代なのかなとも思えます。子どもたちがより安全かつ安心して個性を伸ばせるような教育環境が整うことを心から願っています。
- ・地域コミュニティーとの連携も必要であるが、地域住民の高齢化・定年制の延長・女性の社会進出などで「地域や保護者などと連携した学校運営」の担い手が少なくなっている。地域ボランティアも掛け持ちが多く手一杯の状態。先生の増員や先生の補佐要員を増強し、子供たちにきめの細かい接触ができるように望みます。
- ・藤山台校区は、児童数が少ない 1 小、1 中で、小 1 からの児童同士の関係性に 9 年間変化も少なく、その事からの弊害も多いと思われます。近辺との中学校の統合も考慮すべき課題と思います。
- ・自身の経験として、1 学年に最低 3 クラスはあるべきと考える。
- ・習い事をしなくても学校教育だけで十分に学べる教育。
- ・小学生から中学生にあがる際、他校との合併がないから 9 年同じメンバーになってしまうので、統合したらいいと思う。
- ・一クラスの子供の人数を減らし、教員の目が届くようにしてほしい。教員の負担軽減のためにも教員の数を増やして子供も先生も安全で楽しい学校生活にしてほしい。

◆藤山台小

通学について

- ・クラス替えが可能なように各学年 2 学級ずつ必要との方針には賛成ですが、通学の所要時間や安全面といった問題が解決してこそだと考えます。全てを統合することに固執せず、地理的条件によっては小規模校も残し、小規模であることをメリットとするような方策があってもいいのではないかと思います。
- ・クラス替えが無い事は、子どもにとって閉塞感のストレスは相当のものと実感していた経験から配置を見直す事は必要。通学距離はスクールバスで対応すれば可。
- ・学区を再編するにあたりオンライン授業や通学バスの導入検討をすれば複数の学区を統合する事が可能かと思われます。少子化が加速する中、小規模な統合するよりも早い段階で大規模な統合を検討した方が、将来的な地域の連携はしやすくなると思います。(高蔵寺ニュータウン辺りは急務かと思われます)。
- ・学校を統合することは良いと思いますが、通学距離が長くなると子どもたちの安全面が心配になります。冬は早く暗くなりますし、夏は暑い中熱中症のリスクもあります。こういった事はどうするべきかも考えなくてはいけないと思います。
- ・学校規模が拡大すると通学が困難になる子供も出てくる。それならば通学バスや安全の確保など子供達が安全に通学出来る手段の整備や両親共働き等による。学童等の充実、そこまでの移動手段の確保が必要と考えます。
- ・通学方法(スクールバスなど)整備し、ニュータウン全体で中高まで含めて考えてもよいのではないのでしょうか。よい環境が整い、世間に認知されれば、住民も増え、街の発展にもつながるのではないのでしょうか。
- ・難しい問題であるが統合によって通学距離が長くなるのが懸念される。

その他

- ・5 年後、10 年後少子化で 1 学年 1 クラスになると 9 年間同じになる事がわかると、若い人達に藤山台が敬遠されるのではないかと心配しています。
- ・一小一中の藤山台学区は人間関係のトレーニングのためにも見直す必要があると思う。
- ・藤山台小学校地区と岩成台西小学校を統合、もしくは藤山台小学校と藤山台中学校を小中一貫校にしてほしい。後者の提案についてですが、藤山台小学校の未利用の教室を使って、藤山台中学校の生徒が学習できるようにしてほしいです。実質、中学校は廃校して、校舎を利活用し、藤山台小学校の方に行くようになるようにしてほしいです。私は前者の提案よりも後者の提案を優先して検討していただきたいと考えております。以上、よろしくお願いいたします。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp

地域アンケート結果（高森台中学校区）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり地域の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年6月26日（木）から7月13日（日）まで
対象者	高森台中学校区（高森台小、中央台小、東高森台小学校区）の住民
実施方法	インターネットアンケート
回答数	94人（高森台小：29人、中央台小：37人、東高森台小：28人）

1	お住まいの小中学校区を選択してください。
2	あなたの年齢を選択してください。
3	あなたは、小中学校の児童生徒の保護者、未就学児の保護者を対象に実施したアンケートにご協力いただきましたか。

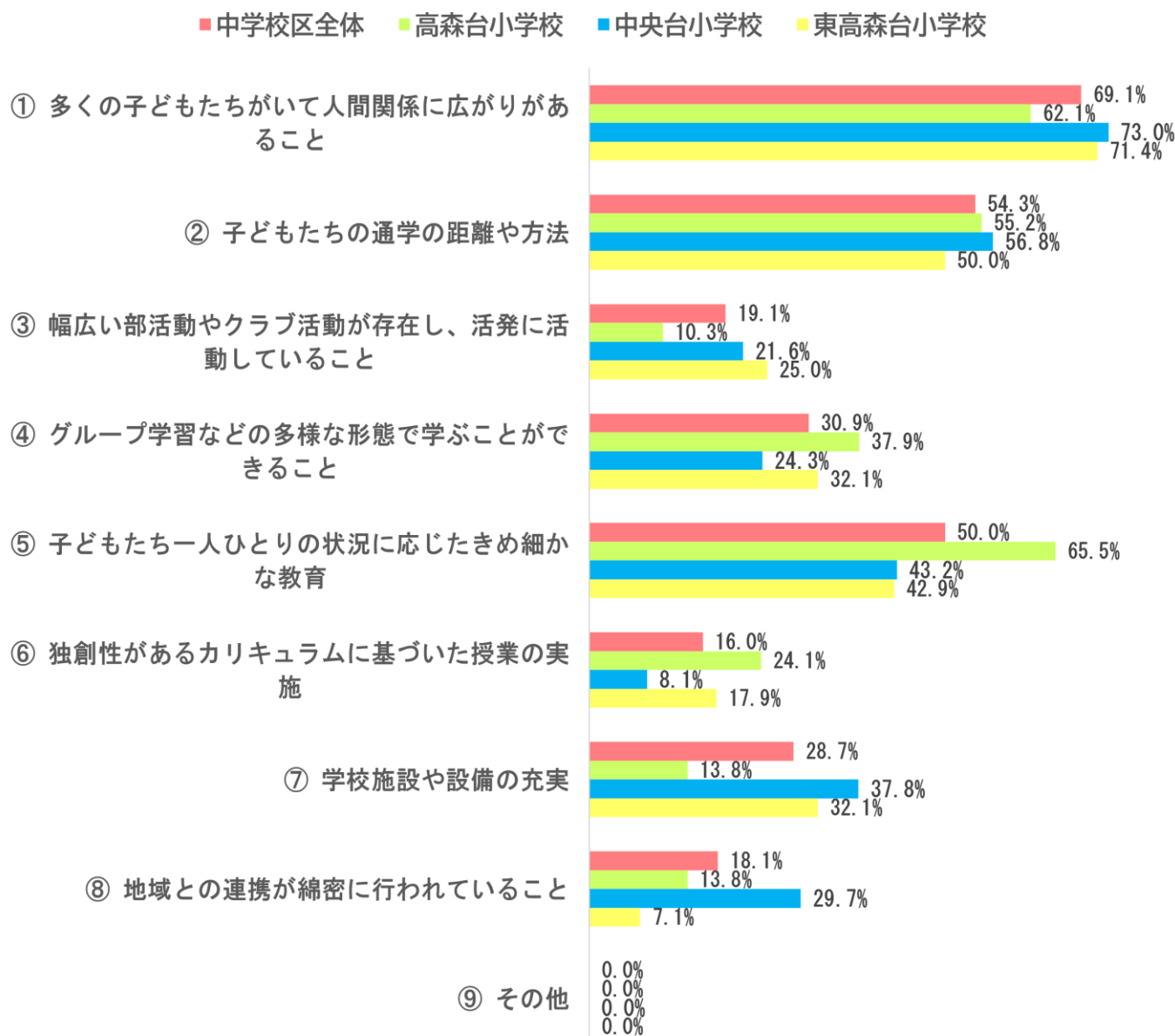
学校区	回答数	回答数の年代別内訳							保護者アンケート 回答の有無
		20歳以下	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳以上	
高森台小	29人	0人	1人	5人	7人	5人	6人	5人	はい：8人 いいえ：21人
中央台小	37人	0人	1人	5人	7人	4人	14人	6人	はい：7人 いいえ：30人
東高森台小	28人	1人	0人	7人	1人	7人	4人	8人	はい：3人 いいえ：25人
計	94人	1人	2人	17人	15人	16人	24人	19人	はい：18人 いいえ：76人

地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

3校ともに「① 多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」、「② 子どもたちの通学の距離や方法」が多く選ばれています。

高森台小では「⑤ 子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」も多くの方に選ばれています。

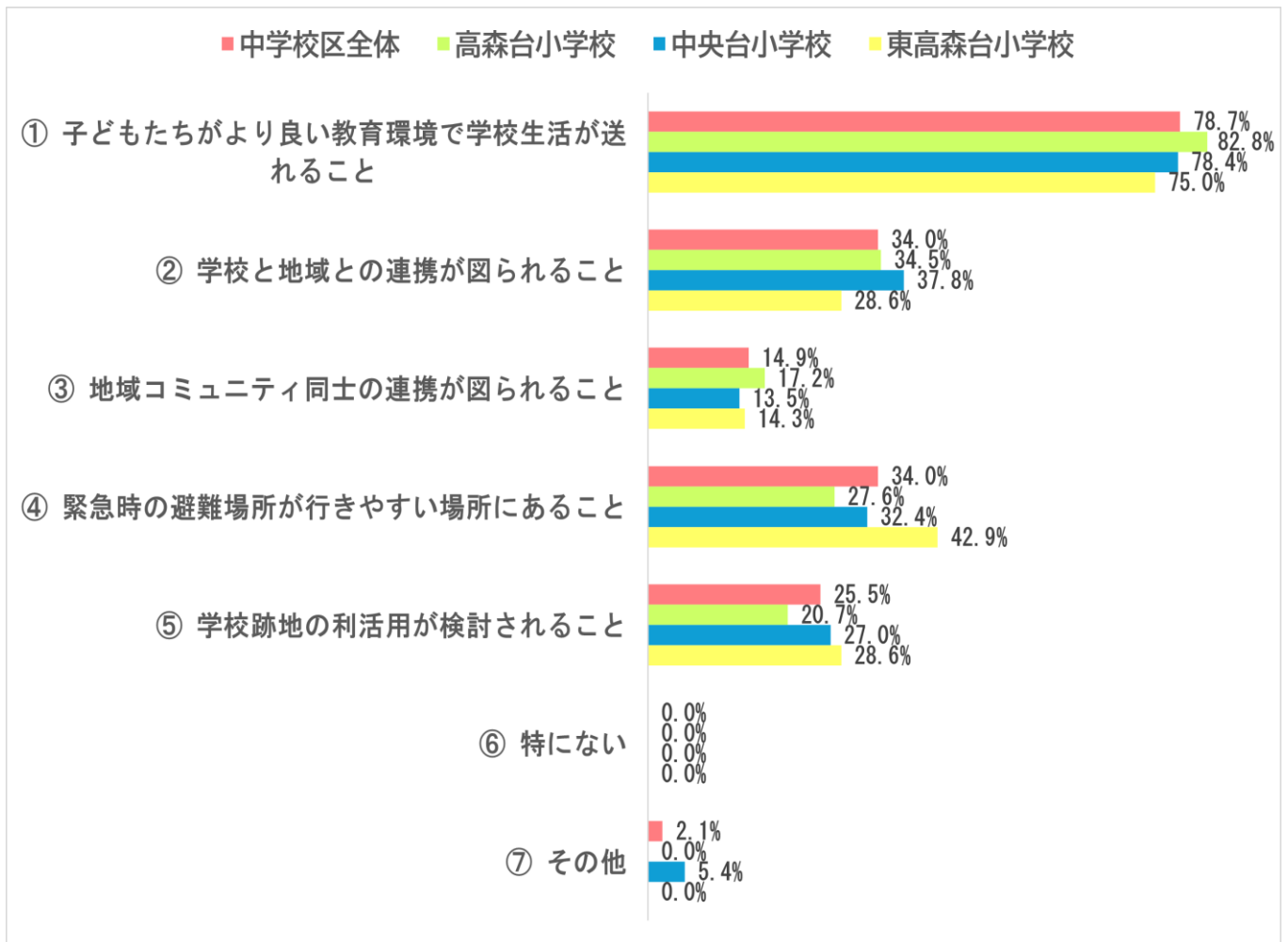


学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって、重要と思うことを次の項目から選択してください。(2つまで)

●回答結果の概要

3校ともに「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活が送れること」が最も多く選ばれています。次いで「② 学校と地域との連携が図られること」と「④ 緊急時の避難場所が行きやすい場所にあること」が選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と概ね同様の傾向となっています。



「⑦ その他」の回答

◆中央台小

- ・通学時間ができるだけ短くなること。
- ・統合した場合、学校まで離れた場所に住む。

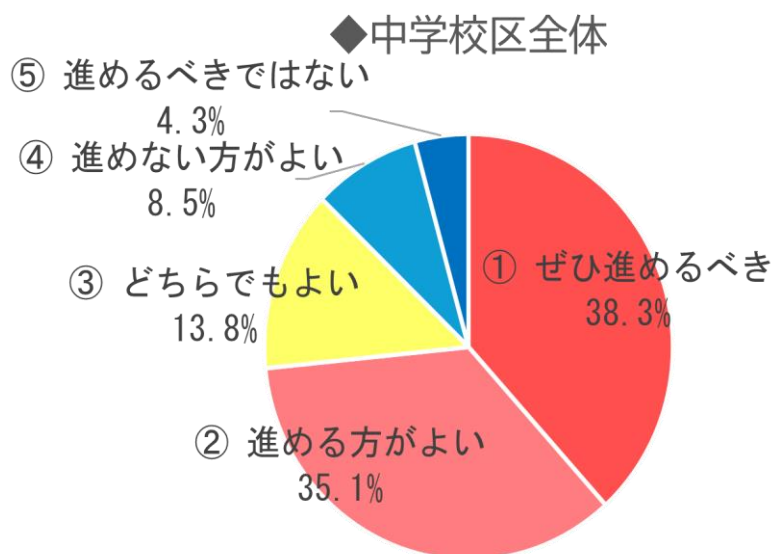
市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

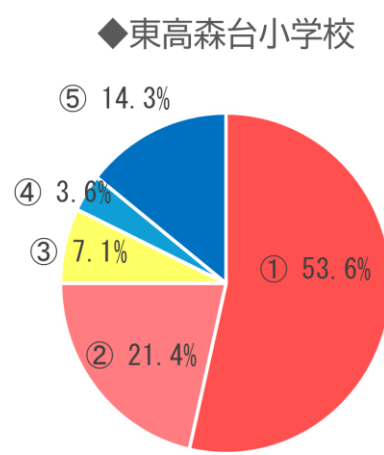
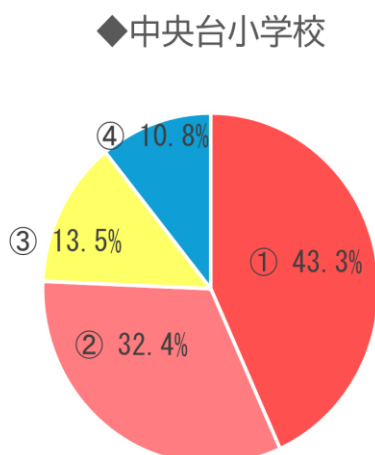
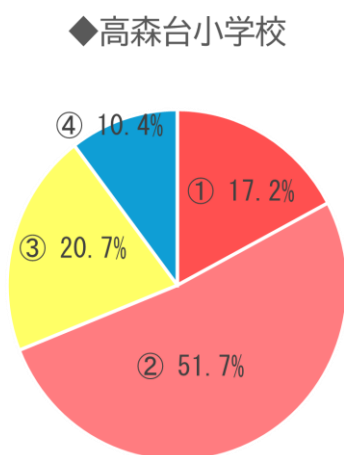
73.4%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

12.8%の方が「④ 進めないほうがよい」又は「⑤ 進めるべきではない」と考えています。

①又は②と回答した方の割合は、対象の12校の中で、中央台小（75.7%）は4番目に、東高森台小（75.0%）は5番目に高くなっています。



■ ① ぜひ進めるべき ■ ② 進める方がよい ■ ③ どちらでもよい ■ ④ 進めない方がよい ■ ⑤ 進めるべきではない

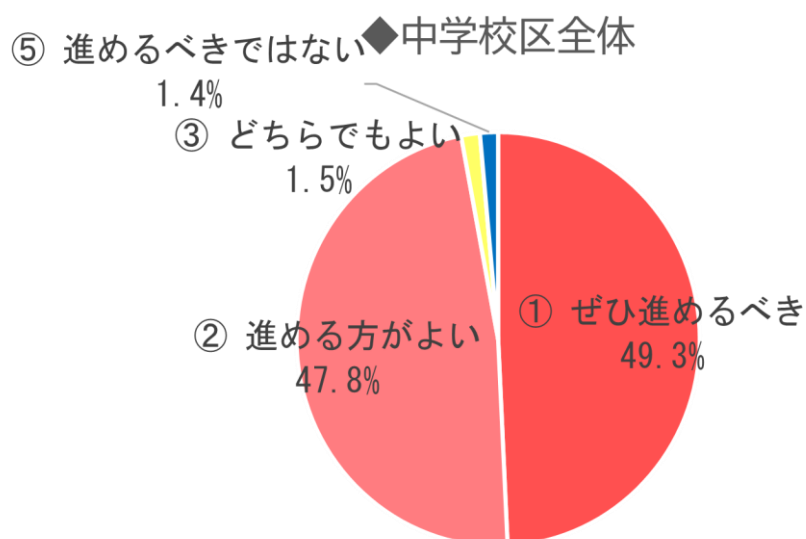


6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。
(1つ)

●回答結果の概要

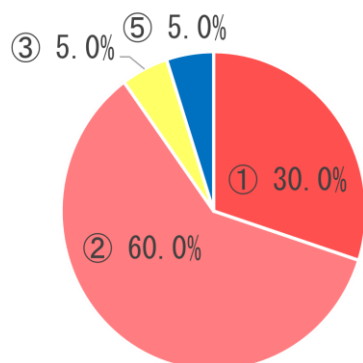
6の質問で①又は②を選んだ方の97.1%が、「お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むこと」に賛成しています。

6の質問で①又は②を選んだ方のうち、「③ どちらでもよい」と「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は、高森台小でそれぞれ1人です。

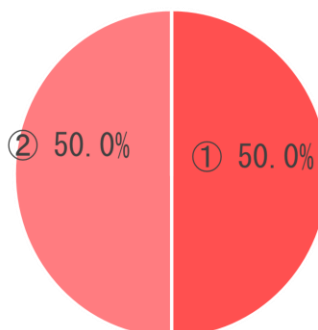


■ ① ぜひ進めるべき ■ ② 進める方がよい ■ ③ どちらでもよい ■ ④ 進めない方がよい ■ ⑤ 進めるべきではない

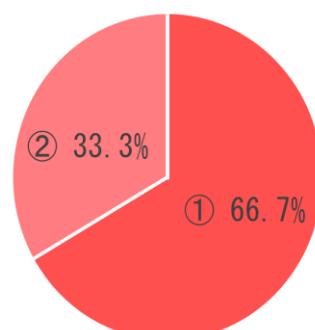
◆ 高森台小学校



◆ 中央台小学校



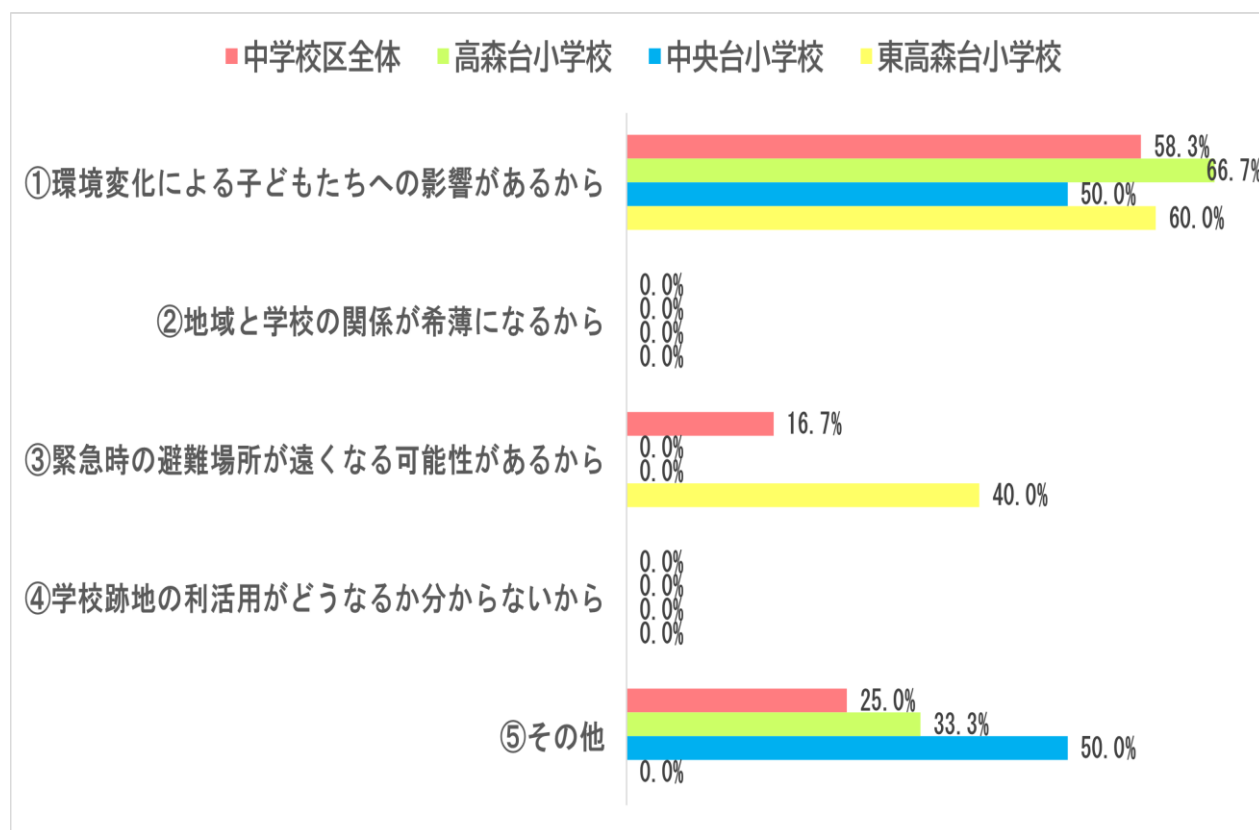
◆ 東高森台小学校



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は12人で、「① 環境変化による子どもたちへの影響があるから」が最も多くなっています。



「⑤ その他」の回答

◆高森台小

- ・通学距離が長くなることの弊害があるように思う。少人数の問題は別の解決法を取ればよく少人数できめ細かい教育を期待する。小学校を総合的に地域の拠点とするべきに思う。

◆中央台小

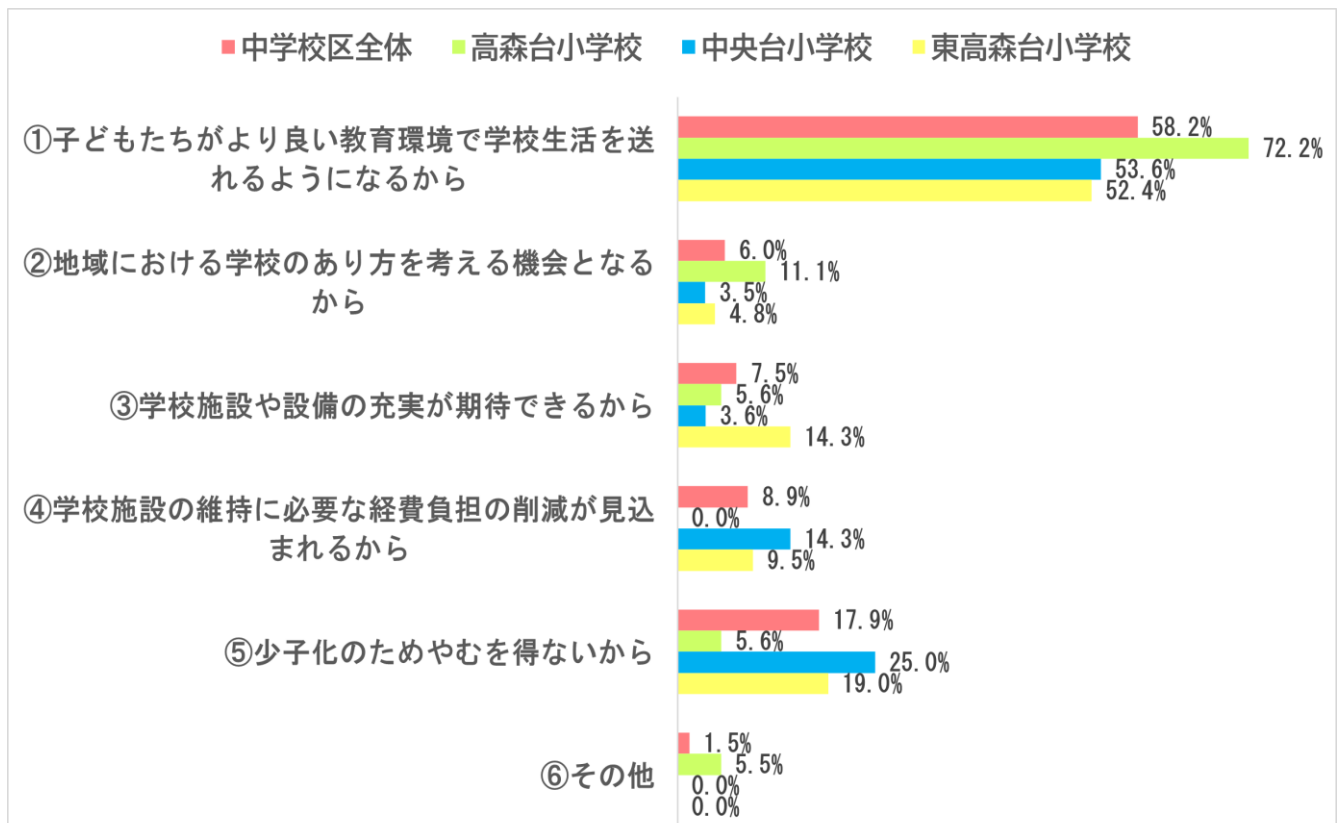
- ・子供たちの通学時間が増えるから。
- ・通学距離がかなり遠くなる子供が出てくる。低学年の子は心配。朝早く起きることになるので睡眠の心配。気温の高い時期は熱中症。冬は暗くなるのも早い。季節を問わず、通学時に犯罪に巻き込まれる危険性は高まる。複数学級のメリットは分かるが、単学級のメリットもある。学校全員が、顔見知り。少人数で授業が受けられる。ただ、先生の数が少ないので、増やすと良い。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で、「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」を選んだ方の多くが、「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れるようになるから」を選んでいました。

地域アンケート結果（地域全体）と概ね同様の傾向となっていますが、高森台小では①を選んだ方が特に多くなっています。



「⑥ その他」の回答

◆高森台小

- ・学年の学級数が最低でも2クラスはあった方がいいと思うから。

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で、「⑤ 進めるべきではない」が1人で、「⑤ その他」を選んでいました。

「⑤ その他」の回答

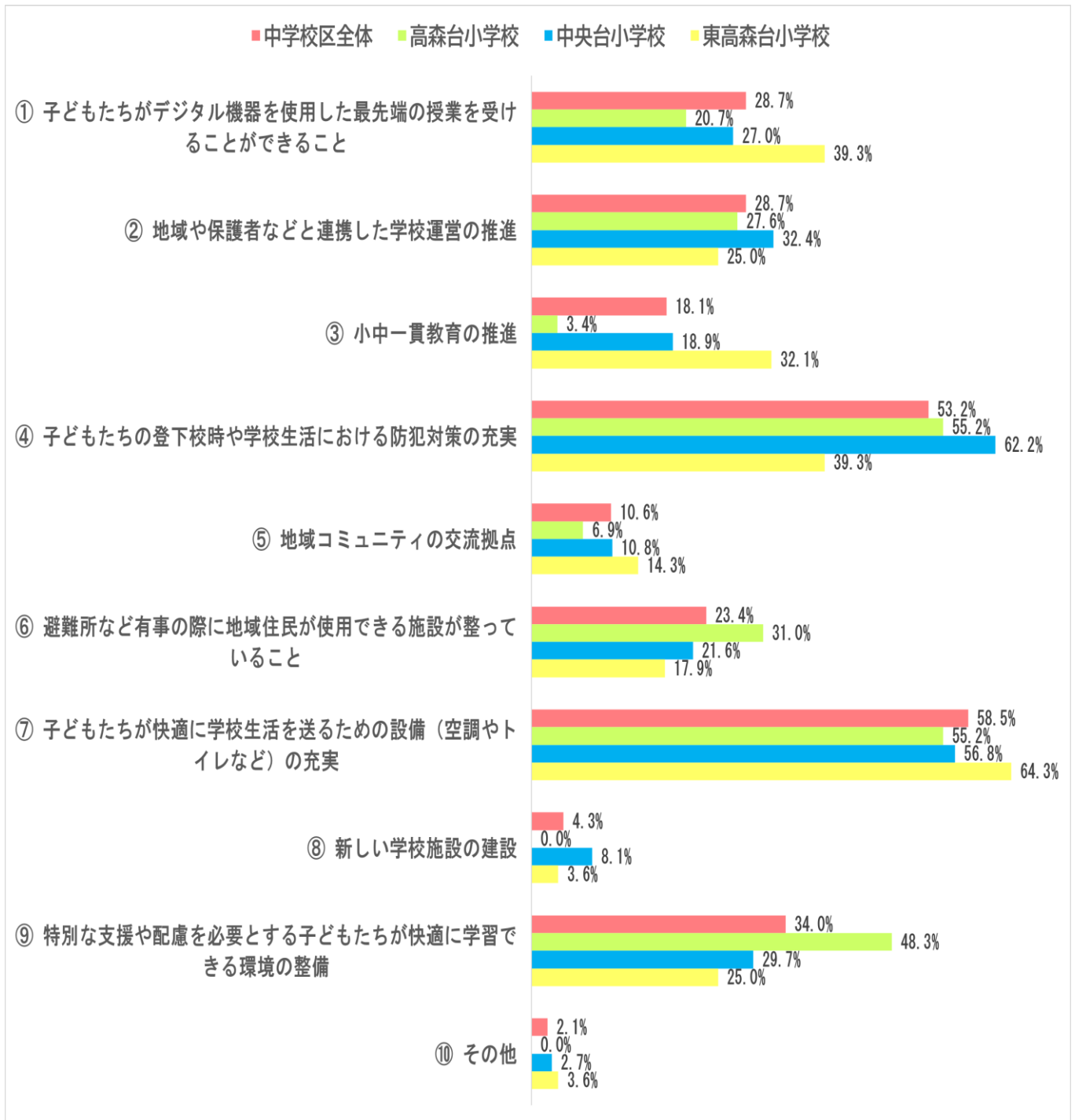
◆高森台小

- ・高森台の小学校は、2校とも登校の距離が程良い為。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「⑦ 子どもたちが快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」、「④ 子どもたちの登下校時や学校生活における防犯対策の充実」、「⑨ 特別な支援や配慮を必要とする子どもたちが快適に学習できる環境の整備」の順に選ばれています。



9 「⑩ その他」の回答

◆中央台小

- ・デジタル機器に頼りすぎない授業

◆東高森台小

- ・人との関わりを増やし多様化している考え、思考に経験を増やすことが社会に対応出来る子が増える気がする。

10

自由記載(学校の規模や配置を見直すことについて、その他ご意見がありましたら、ご記載ください。)

◆高森台小 (10 件)

うち、学校教育 (3 件)、通学 (1 件)、学校設備 (0 件)、地域 (1 件)、その他 (5 件)

学校教育について

- ・教員数を増やす。給料アップ。モンスターペアレンツに対する学校関係機関と他の機関とも連携した積極的な対応と策。いじめの撲滅といじめの早期発見と気付きの仕組み構築。
- ・子どもたちの多様性を育むために必要なのは、単にそこに集まる子どもの人数の多さだけの問題ではないと思います。親や先生、大人側の多面的な視点や柔軟な姿勢が、子どもたちのもともと持っている多様性を伸ばしていく。大人側の物事の捉え方や伝え方も見直していく必要があると感じました。
- ・特別支援学級をなくし、みんな同じ教室で生活、学習をする。複数の教員でクラス運営をしていくインクルーシブ教育。

通学について

- ・学校の規模が大きくなると行事などが盛り上がりがあるとおもいます。学校が統合などにより、子ども達の通学距離がどうなるかも考えてほしい。"

地域について

- ・小学校は年代を超えた地域の拠点としてほしい。教員だけでなくすべてのスタッフが安心して利用者を支えられる条件を整えてほしい。そこには、地域住民も関わると良い。

その他

- ・小・中学校の統合は、教育の効率化と同意語だと思います。先生を増やし、小規模の学校を維持する方が子どもたちにとって必要なことではないでしょうか。
- ・小学生と中学生では体格差が大きいので、一律に考えるのには疑問が有る。小学生は一学年1クラスでも集団生活を学べると考えます。
- ・先日、学校教員による盗撮・共有の事件がありました。学校の防犯について再度見直し検討願います。
- ・大人の都合より、子供たちへの配慮が優先されるべきです。
- ・保護者向けアンケートの結果を見ると、子供の数が少ない地域はこの政策に消極的なように思える。学校の統合などで通学距離が長くなったり、地域のコミュニティとの付き合いが希薄になることに心配があるのではないかと考える。通学距離が長くなると児童や保護者にも負担が増えるし、安全面でも心配がある。この政策には賛成だが、進めるにあたって少数派の意見も受け止め、不安材料への対策はしっかり考え実行していただきたい。

◆中央台小（18件）

うち、学校教育（7件）、通学（7件）、学校設備（1件）、地域（2件）、その他（1件）

学校教育について

- ・クラス数が少ないと、人間関係の成長が阻まれる。また、合わない時に居場所がなくなり年数が長いので、かわいそうである。地域との連携も必要だが、少人数校では、保護者の子供関係に対する影響力が大きくなり、問題もあると思う。
- ・過少校の保護者は意外にも統合を歓迎していないのに仰天しました。きめ細かい対応≠子どもため。過保護です。なので中学生になってカルチャーショックを受け不登校になるのでは？一桁の学年では逃げ場もなく、やり直しも難しい。5年後といわず早く過少校は中小一貫校に移行を望みます。
- ・全ての教科でタブレット(pc)を活用するようになっているが、視力低下や姿勢の悪化、目を酷使うことによる頭痛や不調、こういったことが日本より早く導入していたヨーロッパではすでに、良くない影響も大きいという結果として出てきている。姿勢が悪くなると呼吸が浅くなる、心の不調へも繋がる。心身ともに成長途中である大切な時期だからこそ、ここまでタブレットを用いる必要はないと感じる。5時限6時限全教科でPCを用いた日は、子どもが頭が痛いと言っていたり、クマがひどい。今一度、最先端=PCを用いるという考えが本当にこの時期必要なのか改めて議論していただきたいです。
- ・少人数制は、先生の目がいきとどきやすいとは限らない。いじめにあった子は、クラス替えがないと、辛い日々を送らないといけない。先生の数も限られてくるので、合わない担任だと辛い。多くの人や先生との関わりがあった方がいい。校長や担任の考え方ややる気の問題もあるが。
- ・集約も分散も一長一短があると思います 社会に慣れていくには小さい頃から交わることは必要だと思うしその反面置き去りになる子供はいて欲しく無いです ただ教師の質の低下(盗撮セクハラやイジメ暴力パワハラ等々)での事案が多過ぎるので 多い子供達に真面目に対応できるのか親身に寄り添えるのか親御さんと付き合って行けるのか凄く不安です 名古屋市で経験しましたが授業が終われば学校に鍵をかけて帰宅途中のトラブルに目を背けたり救急車を呼ばなかったり学校規模もそうですが此方の問題も熟考してほしいです。
- ・西尾小の様な1学年一桁が当たり前の様な小規模な学校は早急に見直すべき。社会生活を送る上で人間関係を学ぶことは大切です。無駄な経費の削減にも繋がる。
- ・人口減少がもたらす問題、解決策を授業の中で学び大人になって欲しい。

◆中央台小

通学について

- ・クラスは 2 つ以上あると良いと思いますが通学路は家から近くて安全な方が良いと思うので統廃合で通学に時間がかかったり危険な道路などになるのは良くないと思う。時間外で運動サークルやクラブを 2 つか 3 つの学校で土日などに集まれたりすると良いと思います。
- ・学校区域が広くなることで、通学距離がのびるのはとても心配です。熱中症、防犯、いろいろな面でデメリットがあると考えます。見直すのであれば通学バスや学童の充実を合わせて、しっかりと考えて欲しいです。配置の見直しへの意見とは違うのですが…学力が低く授業についていけないお子さんが増えていると感じます。共働きのため塾に通わすこともできず、困っている保護者さんが多いこと、市は分かっているのでしょうか…早急に対応していかないと、学力の格差が広がり、春日井市には取り返しのつかない若者が増えると感じます。
- ・学校合併に当たり、通学時間が伸びるのはできるだけ避けてほしい。私は中央台小学校から高森台中学校に進学した。中学進学にあたり通学時間が 5 分から 30 分に伸び、新たな環境に移ることとあわせて心身に大きな負担となった。実際、幼馴染はこの負担に耐えられず 3 年間不登校となった。また、小学校の通学時間が長いと業後の時間に影響を与える。遊びや習い事を通した心身の発達や、学業に精を出し塾に通う子供のため業後の時間は多くとれるようにすべきであり、安易な小学校合併で通学時間が延び、小学生の住環境が悪化することは避けてほしい。そのため、仮に中央台小が合併するとしたら、例えば中央台一丁目は岩成台小へ、七丁目は石尾台小へ通うことにするなど、中学校区に囚われず、できるだけ近い小学校への入学を認めるようにしてほしい。
- ・子供の数が少ないのは少し寂しいが、小規模校であるからこそすべての先生たちが全校児童の顔と名前を把握していて担任じゃなくても子供たちの抱えている問題に気が付いてもらやすい環境がある。また地域の大人たちが子供たちの登下校を見守ってくれたりするので安心している部分もある。統廃合で登校距離が伸びた場合に地域の見守りの目がどこまで届くのか心配だし、また学校規模が大きくなることで先生たちとの距離もできて子供たちが問題を気軽に相談できないことも考えられるのでそこが心配。もちろん将来的には子供の数が減っていくので仕方ないところもあるが、小規模校の不足する部分にだけ目を向けて統廃合ありきで進めるのではなく、もし統廃合を進めるとしても小規模校の良い部分をどのように維持していくのかというのもしっかり考えて欲しいです。今は子供の数は少ないが、学年関係なく縦の繋がりも強いのでそういった部分にもメリットを感じています。あと通学距離は絶対に考慮して欲しい。今の夏の暑さで登下校に 30 分や 1 時間は命に関わります。
- ・小学校は通学距離に配慮する
- ・少子化のため、統合は仕方ないと思うが、地域住民は高齢化してるとはいえ、小学校は地域にとって必要な場所である。(広い運動場や体育館も地域にとっては重要な遊び場、交流の場)
未就学児の孫たちもニュータウン内在住。通学はバスで行けるなど、通学路の安全も是非考慮してほしい。
- ・中央台から高森台中まであまりに坂が多く距離がありすぎる、自転車通学も元々許可されていないが坂が多いので自転車移動は大変な地形昔からこの問題が放置されている高森台ではなく、藤中に通わせるか中央台の団地を大々的に取り壊して新規で中学校を新設し、高森台中を廃止、そちらに統合したらどうか？人口減少は止めようがないので、スピートあるプランを求める。

◆中央台小

学校設備について

- ・新しく学校を建設するのは反対です。今ある小学校の教室数も、昔多かった生徒の数より減って、余っているのではないのでしょうか？ 例えば岩成台と岩西を統合する、押沢台と石尾台を統合するのがよいか～と。制度の問題よりも人間関係が、1 クラスしかないと濃くなり大変な気がします。苦手な子がもしいた場合ですが、小1 から小6 まで、ずっと同じクラスというのは、しんどいのではないかな?と想像するからです。市の税金を使ってまで、わざわざ学校を移動したり建設する必要は、この少子化では必要ない気がします。距離が遠い子はバスを出すとか。運転手の人件費が掛かったとしても、新しく学校を建設する費用に比べれば、運転手の人件費の方が安く済む気がします。

地域について

- ・春日井市の東部地区の高蔵寺ニュータウン住民の高齢化と少子化により、学校の統廃合は今後必然となってくるようですが、学校教育課だけが抱える問題にするのではなく、まちの若返りに取り組む政策が必要かと感じています。リ・ニュータウン計画をもっと強力に且つ重点的に推進して頂きたい。
- ・中央台や、東高森台に、子供も孫も長年通っています。中学は高森台中です。
今の保護者が通う頃は活気があり、放課後も楽しく遊んでいましたが、今は子供の数がへり、6 年間同じ子供同士で、立場が変わらずかわいそうです。統合して、スクールバスなど利用し、安全に登校できるようにしてほしいです。中央台小は、アピタ近く、バスも通り便利ですから、介護施設や、病院を集めて利用できると高齢者にも、子供にも優しい地域になるかと思われます。ご検討は、早めをお願いしたいほど、地域の高齢化は進み、より少子化になります。
よろしくお願いします。

その他

- ・中央台中学校の設立が白紙となり、高森台中学校への入学となった。石尾台中学校区を飛び越えた編入となり、中央台区の子供達は今でも遠距離通学となっている。このような合区は解消願いたい。

◆東高森台小（12 件）

うち、学校教育（5 件）、通学（3 件）、学校設備（1 件）、地域（0 件）、その他（3 件）

学校教育について

- ・規模や配置を見直すことで、子どもたちの交流が増すと考える。流動的に色々な子達と接することで、社会に出た時に人馴れする練習になればと考える。
- ・自分の子どもは小学校、中学もクラス数が少なく、体育祭、文化祭においても昔ほどの楽しさ、盛り上がりもない。部活動においては活気もなかったのでクラブチームに所属していました。もう少し多ければいろんな友達と知り合えたのにといい残念です。通学時間がとか色々ご意見ありますが、通学時間も子どもたちにとってはコミュニケーションを学ぶ場であると思います。
- ・小中学の 9 年間ですべて 1 クラスというのはあまりにも環境が変わらなさすぎだと思います。高校進学や社会に出たときに新しい人間関係を築くのに不安が出る子が多いと思います。また、何か問題があったときにその子とクラスを分けられないというのも子どもにとって苦しい状況だと思います。運動会や体育祭でもクラス対抗で団結力が育まれると思いますが 1 クラスではやりようがないと思います。1 クラスを 2 つのチームに分けたところでクラスとして達成するものはないと思います。早急に学校数を見直し、子どもたちのよりよい成長のためにも 2 クラス以上になるようお願いしたいです。
- ・小規模校の方が地域との繋がりが色濃くあり、先生が全校生徒の顔と名前を覚えていたり、その子の性格まで把握したりと目が良く行き届いていると感じます。小さい学校なので縦割り班行動があったり、学校外でも上級生が下級生を自然と見る事が出来ているのが魅力だと考えます。生徒数が増えると縦割り行動はしなくなり、子ども達の関係が希薄になる事に不安を覚えます。
- ・色々な子供達とまじ合う事により成長出来る、新しい建物、設備で最新の学習出来る。先生も大人数で、幅広い知見、良識を持ち易くなる。是非、子供達の為に、適正規模の推進をお願いします。

通学について

- ・運営コストや、子供の社会性を育てることを考えると、複数の学校をまとめてクラス数を増やす方がよいとは思ってはいます。ただ、実際は、就学前の子供がいて、徒歩で数分の距離に学校があることに安心している身としては、その学校が廃校となり家から離れた学校へ通わず可能性を考えると、あまり賛成できないと言うのが正直なところです。このご時世の治安の悪さや、森が多くあまり人気(ひとけ)のない住宅街なこともあって、学校が遠くなることはとても怖いのです。学校を統合することよりも、出生率を上げる(児童数を増やす)工夫に尽力いただけるとありがたいなと思っています。
- ・小学校がわりと近い理由もあって家を建てました。近い方が安心。
- ・登校距離が遠くなりすぎない配慮が大事だと思います。

◆東高森台小

学校設備について

- ・見直しに賛成です。統廃合で空いた施設の活用方法を地域と十分に意見交換して、進めてもらいたい。

その他

- ・問 6 について運動会や学習発表会など隣接の学校と合同でできるものはやれば良いと思います。
- ・現在、新聞で報道されている先生による性犯罪の様な事が無い事を切に願います。
- ・高蔵寺ニュータウンの地理的条件として、高低差が大きいことが特徴として挙げられます。そのため、小学校区の再編成にあたっては、通学方法の条件緩和や、坂道の多さを踏まえた校区編成であることを期待します。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp

地域アンケート結果（石尾台中学校区）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり地域の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年6月26日（木）から7月13日（日）まで
対象者	石尾台中学校区（玉川小、石尾台小、押沢台小学校区）の住民
実施方法	インターネットアンケート
回答数	127人（玉川小：37人、石尾台小：50人、押沢台小：40人）

1	お住まいの小学校区を選択してください。
2	あなたの年齢を選択してください。
3	あなたは、小中学校の児童生徒の保護者、未就学児の保護者を対象に実施したアンケートにご協力いただきましたか。

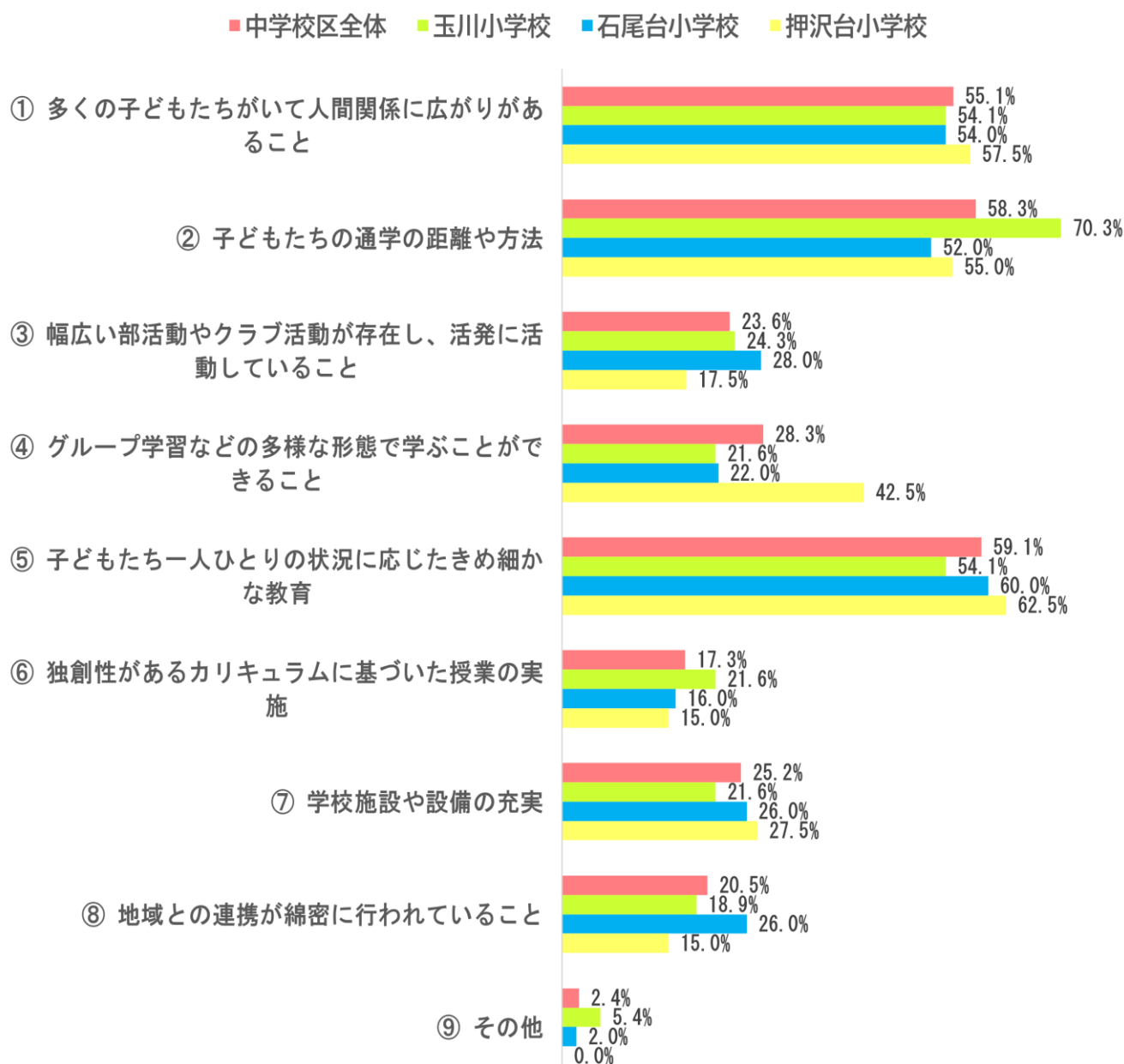
学校区	回答数	回答数の年代別内訳							保護者アンケート 回答の有無
		20歳以下	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳以上	
玉川小	37人	0人	1人	6人	4人	11人	10人	5人	はい：4人 いいえ：33人
石尾台小	50人	0人	1人	1人	7人	10人	14人	17人	はい：5人 いいえ：45人
押沢台小	40人	0人	4人	3人	2人	13人	6人	12人	はい：7人 いいえ：33人
計	127人	0人	6人	10人	13人	34人	30人	34人	はい：16人 いいえ：111人

地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

3校ともに「⑤ 子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」、「② 子どもたちの通学の距離や方法」、「① 多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」が多く選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、押沢台小では「④ グループ学習などの多様な形態で学ぶことができること」も多くの方に選ばれています。



4 「⑨ その他」の回答

◆玉川小

- ・ いろいろな事柄にある本質に触れる教育をすると思います。例えば HIPHOP ならダンスだけじゃなくその裏にある黒人の歴史を学ぶ事で差別をしてはならないと言う事を学ぶと言うような感じですね。それと男女共に表面上の才能や見た目で人を判断する考え方を180度変え、人の中身を育み、人を蹴落とすんじゃなく、みんなで協力して行く生き方を学び、いじめをした者には二度としないように厳しいペナルティを与え、見た目で人を判断する者にはその考え方を改めさせる教育ですね。もちろんそれを教える立場の人にもしっかりと学んでもらいます!

そうする事により日本のいくつかの問題点とこれからの時代への対応ができるのではないのでしょうか?

- ・ キャリアカウンセラーの配置と活用。

◆石尾台小

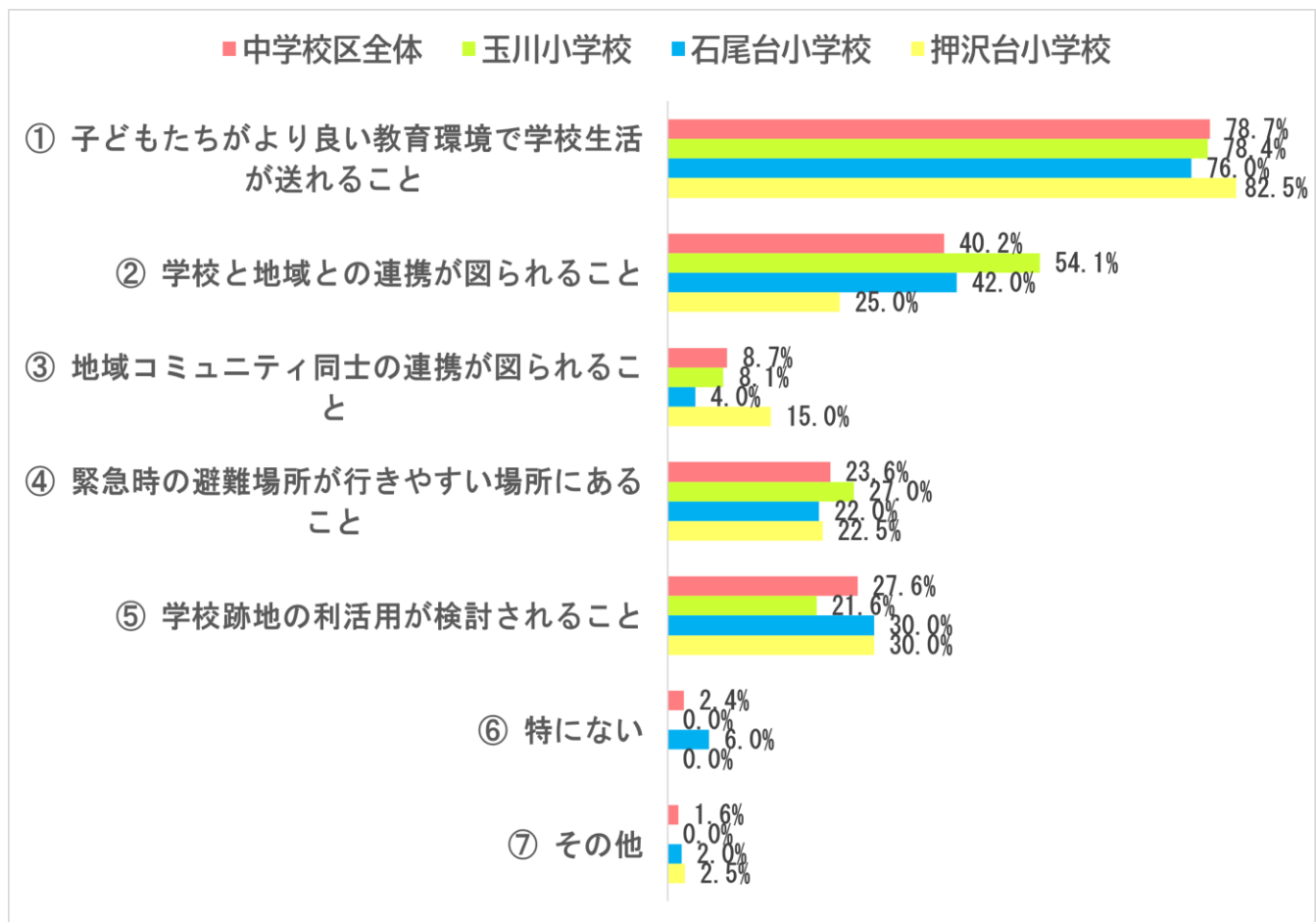
- ・ いじめがないこと。孤立する子がいないこと。不登校になる子がいないこと。勉強ができなくても馬鹿にされたり、差別されたりすることがないこと。

学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって、重要と思うことを次の項目から選択してください。(2つまで)

●回答結果の概要

3校ともに「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活が送れること」が最も多く選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、玉川小では「② 学校と地域との連携が図られること」も多くの方に選ばれています。



「⑦ その他」の回答

◆石尾台小

・地域に住む住民と児童・生徒が自然に挨拶ができる関係がつかれること。

◆押沢台小

・通学し易い=坂道ができるだけないこと。

64.6%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

24.4%の方が「④ 進めないほうがよい」又は「⑤ 進めるべきではない」と考えています。

①又は②を選んだ方の割合は3校とも半数を超えているものの、④又は⑤を選んだ方の割合では、対象の12校の中で、玉川小(32.4%)は1番目に、押沢台小(22.5%)は4番目に、石尾台小(20.0%)は5番目に高くなっています。

A pie chart illustrating the distribution of responses for Question 5: 'Should we advance the 2020 Tokyo Olympics?'. The chart is divided into five segments, each labeled with a number and a percentage. The segments are: ① (red) 29.2%, ② (pink) 35.4%, ③ (yellow) 11.0%, ④ (blue) 18.9%, and ⑤ (dark blue) 5.5%.

Response	Percentage
① ぜひ進めるべき	29.2%
② 進める方がよい	35.4%
③ どちらでもよい	11.0%
④ 進めない方がよい	18.9%
⑤ 進めるべきではない	5.5%

■ ① ぜひ進めるべき ■ ② 進める方がよい ■ ③ どちらでもよい ■ ④ 進めない方がよい ■ ⑤ 進めるべきではない

A pie chart showing the distribution of responses for the statement 'The government should take more action to protect the environment'. The chart is divided into five segments, labeled ① through ⑤, with their respective percentages.

Label	Percentage
①	24.3%
②	32.5%
③	10.8%
④	27.0%
⑤	5.4%

Response Category	Percentage
①	40.0%
②	26.0%
③	14.0%
④	14.0%
⑤	6.0%

A pie chart showing the distribution of responses for the statement 'The company is not doing enough to protect the environment'. The chart is divided into five segments: ① 20.0% (red), ② 50.0% (pink), ③ 7.5% (yellow), ④ 17.5% (blue), and ⑤ 5.0% (dark blue).

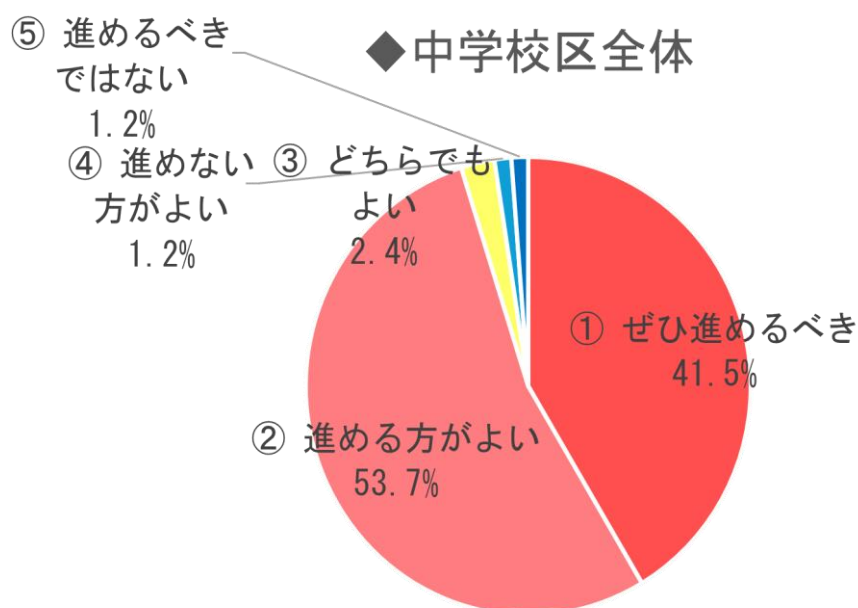
Response Category	Percentage
①	20.0%
②	50.0%
③	7.5%
④	17.5%
⑤	5.0%

6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。
(1つ)

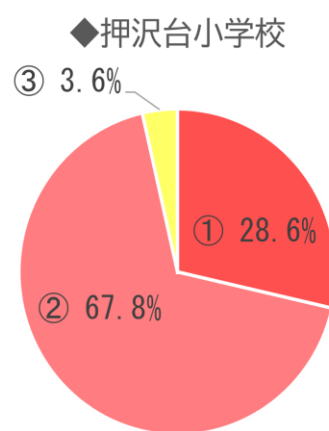
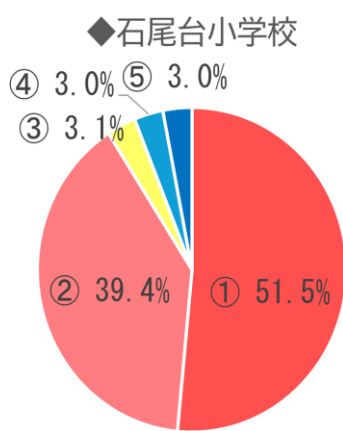
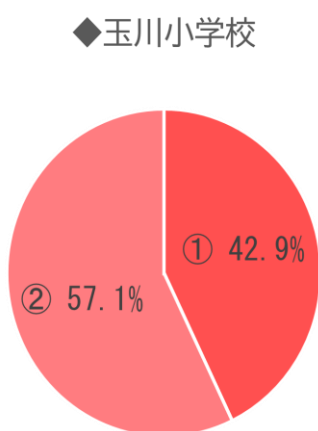
●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の95.2%が、「お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むこと」に賛成しています。

6の質問で①又は②を選んだ方のうち、「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は、石尾台小でそれぞれ1人です。



■ ① ① ① ① ① ■ ② ② ② ② ② ■ ③ ③ ③ ③ ③ ■ ④ ④ ④ ④ ④ ■ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤

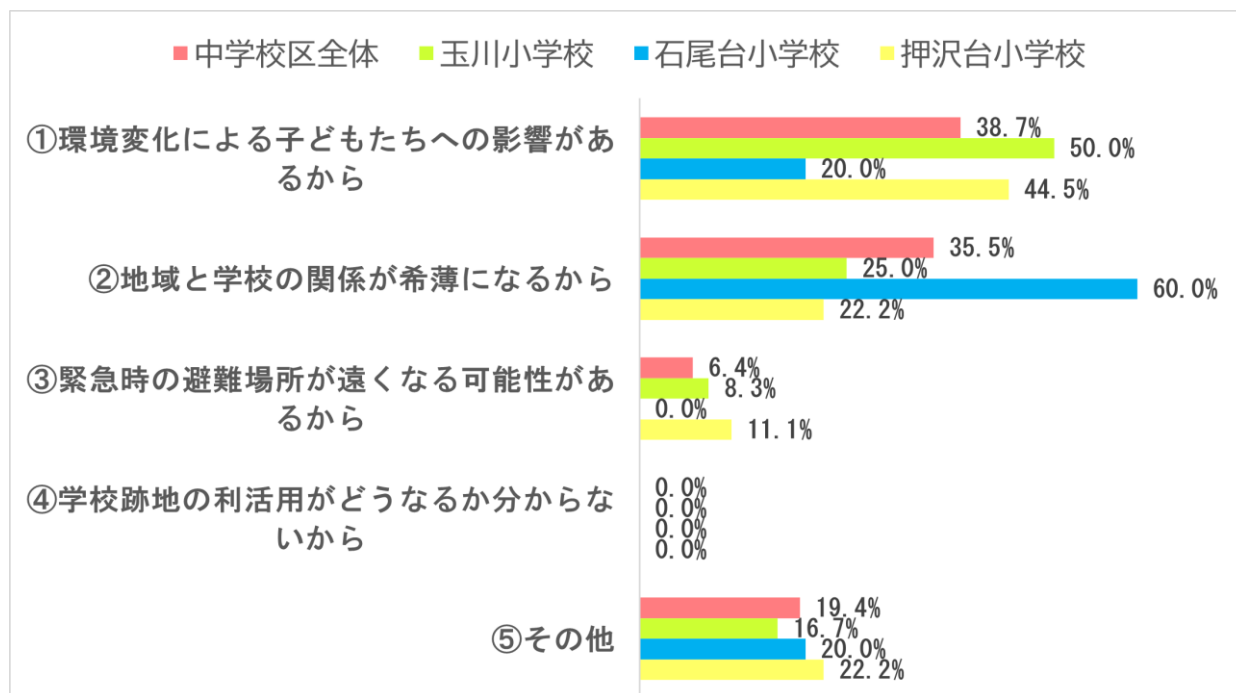


6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は、「① 環境変化による子どもたちへの影響があるから」と「② 地域と学校の関係が希薄になるから」を多く選んでいます。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、石尾台小では②の割合が高くなっています。



「⑤ その他」の回答

◆玉川小

- ・子ども達の通学が大変になるから。
- ・子供達の通学距離が長くなることによる負担増を懸念する。

◆石尾台小

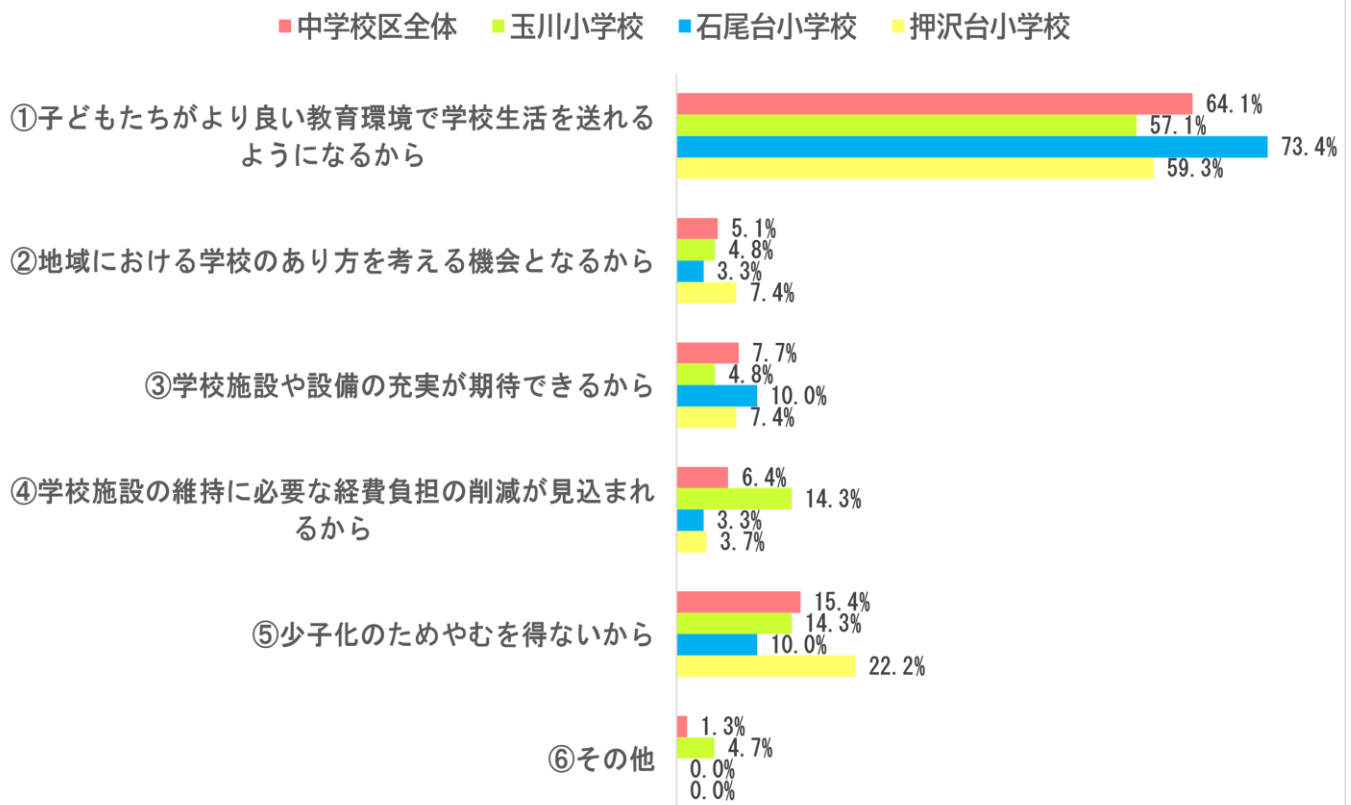
- ・学校への距離が遠くなった時の登校方法が不安。中学生は自転車に乗れるが、小学生は安全面の不安がある。距離が遠くなってしまう場合スクールバスを出すなど検討してほしい。
- ・今後の人口減（生徒減）の対応を学校内だけで解決しようとするのはいずれ破綻してしまう。12年後まではこれでいいかもしれないが、そのあとをどうするのかの考えが見えない。今後集約を続ければ地理的に通学できなくなることは明かだ。生徒数の適正化ではなく、地理的な設置密度の観点から教育機関の配置を考えるべきではないか。ここにいう教育機関とは単に小学校、中学校という従来の枠組みではなく、小中一貫教育から始めて保育園や児童館、図書館、老人ホーム、防災拠点などが併設された複合教育機関が考えられる。教室で教科書中心のカリキュラムを専門教員が教える方法からこれらの併設機関を活用し、地域の多様な人材がかかわる割合を増やすカリキュラムといった、教育方法の変換も必要だろう。自宅から近い場所に学びの場があることは地元愛の涵養にも資する。要は、「1学年2学級以上あることが必要」といった現状のつじつま合わせから出発した考え方は賛成できない。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で、「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」を選んだ方の多くが、「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れるようになるから」を選んでいました。

地域アンケート結果（地域全体）と概ね同様の傾向となっていますが、石尾台小では①を選んだ方が特に多くなっています。



「⑥ その他」の回答

◆玉川小

- ・子どものために、仲間がたくさんいる環境が、必要だとおもうから、

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で、「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方がそれぞれ1人で、「⑤ その他」を選んでいました。

「⑤ その他」の回答

◆石尾台小

- ・人口が徐々に減ってきているが、回復させてから適正規模配置を検討すべき。行政はまだ、やっていない。何か行ったことがあったら教えてください。
- ・通学距離の遠さ

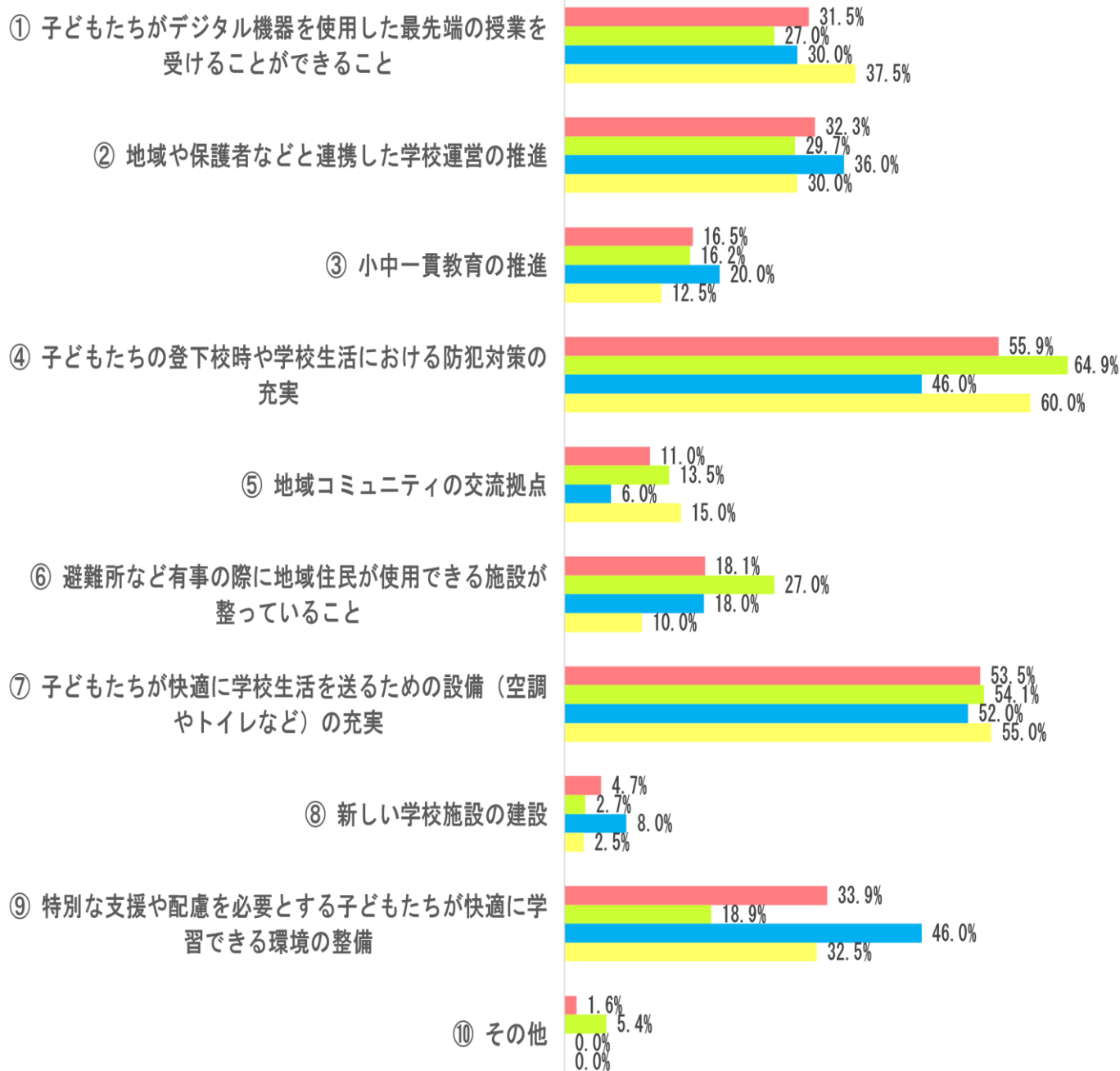
これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

3校ともに、「④ 子どもたちの登下校時や学校生活における防犯対策の充実」、「⑦ 子どもたちが快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」が多く選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、石尾台小では、「⑨ 特別な支援や配慮を必要とする子どもたちが快適に学習できる環境の整備」も多くの方に選ばれています。

■ 中学校区全体 ■ 玉川小学校 ■ 石尾台小学校 ■ 押沢台小学校



9 「⑩ その他」の回答

◆玉川小学校

- ・マニュアル通りの昔からの椅子に座っての授業より、グループワークを増やし、ひとりひとりが意見を出して話し合う授業をふやしてほしい。自分を意見をしっかり持って言える子どもたちになってほしい。
- ・本質を学ぶ環境になること

10

自由記載(学校の規模や配置を見直すことについて、その他ご意見がありましたら、ご記載ください。)

◆玉川小 (11 件)

うち、学校教育 (3 件)、通学 (8 件)、学校設備 (0 件)、地域 (0 件)、その他 (0 件)

学校教育について

- ・学級数よりも一学級に入る先生を一人ではなく最低でも二人入れた方が望ましい。教師不足の現状があるなら、教育に関心のある地域の大人を面談によって募集しても良いと思う。より多くの先生や大人の目があれば、一担任制による閉鎖的になりやすい教室から、いじめや不正が減ると思われるから。一担任に精神的負担が集中しないよう、教室にサポートする先生や地域の大人がいれば、子どもだけでなく、大人にも余裕が生まれ客観的に学級経営もしやすくなり、モンペア対策にも複数の大人で対応できるので、多忙な教員を救うことにつながるのではないかと思う。自分もいじめを経験したことがあり、学校にも私服の警察官や弁護士がいれば、いじめは起きにくいのにと常に思っていたことから以上のような意見を述べさせてもらった。
- ・少子化や学級数等を理由に統廃合を進めるべきではありません。教職員の質や数、老朽化した校舎の建て替え、部活や放課後学級等と合わせて包括的に考えるべきです。今回の趣旨とは外れますが、電子教科書による学習内容の定着率の悪さも忘れてはいけないと思います。
- ・他県のスクールソーシャルワーカーをしています。不登校の子が増えていて、生徒間のトラブルや先生も問題を起こしたりしています。一学年一クラスだと、生徒の逃げ場もなくなりますし、先生との相性がよくない場合には不登校が続きます。春日井市も学校選択制度を導入してはどうかと思います。他県ですが、地域によって問題が多いところとそうでないところがあります。

通学について

- ・学校へ行く距離が遠くなる事への、子供の負担はかなり大きいと思います。学校の数进行を縮小したいのであれば、スクールバスなどの検討もした方が良いのではないかと思います。自分の子供の経験から、中学校の時に距離が遠くなり自転車通学になり、重い荷物をのせて、坂を重たい自転車をひいて歩いて通っていました。かなりの疲労度で毎日が学校に行くのでいっぱいでした。家での学習にかなりマイナスでした。学校から近くの子達は余裕があるので、当時は羨ましく思う事も度々ありました。このように、自分の経験から、学校が統一される事で良い事もあるかもしれませんが、遠距離になる子供達に負担がないような政策を考えて頂きたいと思います。

◆玉川小

通学について

- ・玉川小学校校区です。押沢台と統合となると、玉野地区からの通学距離が長くなり、小学校低学年や、夏場の児童の身体的負担が大きくなることを非常に心配しています。少子化の中で地区に子供が少ないこともわかりますが、若い世代が引っ越してくるような魅力を作ったり、地域の公園にしてももっと管理して子育て世代を誘致できる地にする工夫も必要だと感じます。
- ・玉川小学校地区だと石尾台中学校・高蔵寺中学校までの距離にほぼ差がないため、どちらに進学するか選択できるようにしてほしい。
- ・高蔵寺ニュータウン内の学区を統合すると子どもたちの通学が可哀想です。バスの送迎、自転車通学も困難で、保護者の送迎となると学校の周りの交通渋滞と保護者の負担も大きくなると思います。
- ・合併などによって、子どもの通学距離が長くなってしまい、交通事故や連れ去りなどの事件に巻き込まれるリスクを出来るだけ回避して検討して欲しいと思います。
- ・少子化もあり学校の統合は必要になってくると思うが、通学時間が増える等のデメリットもある。スクールバスを走らせることも解決策のひとつだと思う。費用も発生するが、少人数の学校をいくつも存続させるよりは維持管理費は少なくて済むのではないだろうか。子供達も多人数で学んだ方が、人間関係の経験値を上げられると思う。多方面から検討していただき、より良い教育環境を提供していただきたい。
- ・適正ばかりが強調されているが、小学校は歩いていける近いところにあるべきと考える。小規模には小規模の良い面もあるのに、全く触れられていない。小学校が遠い地域には若い人たちは移住せず、街がどんどん過疎化していくのは問題。春日井東部西尾方面は益々過疎になるのでは？学校の存続は地域の存続にかかっている。安易に適正規模だからと、統廃合してはいけないと思う。このアンケートは、統廃合に向かうような問いで構成されている。
- ・玉川小学校区から石尾台中学校はかなり距離がある。また、石尾台小学校、押沢台小学校、玉川小学校ともに1クラスしかないので押沢台小学校を廃校し、その場所を石尾台中学校としていただきたい。温暖化が進み、高温の日には長い長い登り坂を通学するのみ熱中症にならないか心配ではない。

◆石尾台小（28 件）

うち、学校教育（14 件）、通学（6 件）、学校設備（1 件）、地域（3 件）、その他（4 件）

学校教育について

- ・少子化に伴い、学校の規模等考え直すのは大変良いと思います。その分、学校の設備をより良く整えてあげたり、支援が必要な児童のために必要な人材を入れたり、と、今までとは違う新たな時代に合う教育体制を整えてあげて欲しいと思います。子どもは、宝です。子ども達の未来が良きものとなる様、どうぞ御検討ください。よろしくお願いいたします。
- ・いろいろと異なる意見があると思いますが、子ども達のことを考えると、やはりある適度の人数の中で学んでいくことが、大切であると考えます。
- ・一クラスしかない中で子どもたちがお世話になりましたが、先生方の力量の差が、ダイレクトに子どもに影響する怖さを感じました。複数クラスあることで、多くの目で子どもの教育に携わって欲しいと願っていたので、ぜひ進めていただきたい。
- ・我が家の子ども 2 人(姉弟)とも 1 学年 1 クラスで小学校生活を送った。姉にとっては 1 クラスで特に気にならなかったと言い、弟にとってはクラス替えがなく人間関係が大変そうだった。添付資料を見ると現状では 1 クラスであっても 30 人くらい児童がいるが、数年後にずっと人数が減ることが見込まれるなら学校の配置を考える必要があると思う。1 学年複数クラスになることで 1 校当たりの教員数も増えて、きめ細かい教育につながると思う。また既存の校区割にこだわらず、通学の安全、時間も考慮して、新しい校区を設定しても良いのではないのでしょうか。
- ・我が家の子供たちは 1 学年 1 学級の小学校だったため、人間関係の固定化、トラブル時の対応の難しさを感じていました。幼稚園の時の同級生の中には、地域の小学校に上がると同性の同級生が数名しかいないとのことで転居した人もいました。複数学級は必要だと感じています。通学に無理の無い範囲で再編成すべきではないのでしょうか。
- ・各中学校ブロックで、義務教育学校に再編し、より主体的創意工夫ができる学校教育を推進していただきたい。
- ・私の子供は 1 年生から一度もクラス替えの経験をせず中学生になりました。このアンケートが届きクラス替えの有無について本人に聞いてみましたが、見知った学童とずーっと一緒だった事は良かった・不都合を感じたことは無かったと言ってました。このアンケートの回答者の中には OB・OG の人が多数いると思いますが、1 学級しか経験のないこれらの人の意見を是非とも重視していただければと存じます。
- ・学年 1 クラスだった息子やその友人は、クラスメイトに嫌な事をされても「この先も同じクラスだから」と、じっと我慢していると話してくれました。10 歳程度の子に人間関係を遠慮させていたのは少人数クラスだから。彼らには逃げ道がないのです。
- ・教師一児童・生徒、児童・生徒間で人権が尊重される教育環境が築き上げられていることが何より大切なことだと思います。
- ・石尾台小学校はここ十数年、生徒数の減少により全学年一クラスであるのが問題であり、担任教師に非常勤講師等も導入し全学年 2 クラス制とし、生徒間における適応能力向上を図る事が望ましい。

◆石尾台小

学校教育について

- ・石尾台小学校はかなり以前から1クラスで、6年間同じ子どもたちだけで生活しているので、仲はいいかも知れないが、やはりいろんな子どもたちと生活する事が成長に繋がるものと考えます。藤山台小学校のように新しい校舎を建てて、新しい気持ちで一緒に勉強するのがいいと思います。
- ・小さな校区で「おらが学校」という狭い認識を持ったり、統合によって通学距離が長くなるから反対するなどという一面的な考えに固執したりすることなく、以前の児童生徒数とは大きく異なることを認識して将来の子供たちにとって総合的に良き教育環境を整えることを進めるべきだと思います。
- ・公民館とは違った役割が小中学校にあります。子供の公教育とともに学区の大人にとっても歴史文化を学び鍛え直す公教育機関です。子どもたちの教育とともに、歴史文化の背景を、学区に発信することも大切な機能です。
- ・児童の意見を尊重して、すすめてほしい。

通学について

- ・私自身、中学校が遠く（坂が多いところだったため自転車で30-40分かかっていた）重い荷物を持って毎朝早く自転車で通って大変だった。実際荷物が重すぎて自転車で転倒したこともある。学校の規模や配置を見直すのは良いが、特に小学生の小学校の距離が遠くなった場合の具体的な安全性と登校方法を示してほしいと思う。最近の夏はとても熱いため歩いて登校する距離が遠くなったときに熱中症なども心配。
- ・保護者アンケートの結果を拝見し、「登下校時の安全面」を心配されている保護者が多いことが分かった。瀬戸市での例などを参考に、進めて行って欲しい。中1ギャップの解消のために、小中の連携を進め（小中一貫校を含む）、魅力ある学校をつくり、地域の活性化（若い世代の流入）に繋げて欲しい。
- ・特に小学生の通学距離が長くなることが心配です。古い設備も改善されると良いと思います。
- ・現在の学区分けの見直し。隣の学区への通学距離の方が近いなど、ニュータウン独特の地形の為仕方ないと思うが、これを機に見直しても良い様に思う。その際は、在学中の生徒の環境が大きく変わらない様、新入学からにする等の配慮も含め検討していく必要がある。
- ・小中共通学距離は重要な要件だと思います
- ・中学生は自転車通学が可能だが、小学生の場合は体力がないので（異常気象や防犯の観点からも）、距離、地形を鑑みて、スクールバスもしくは公共交通機関のバス通学を取り入れれば、統合も良いかもしれない。登下校の見守りは、保護者でなく、主にリタイアされた世代の方に頼っているが（それも最近は人手不足。）、今以上の距離になると、それも無理になってくるので、その点は、よく考えてほしい。共働きの保護者が多いので、保護者にも地域の人にも、負担をかけてはいけないと思う。

◆石尾台小

学校設備について

- ・ 7-2 のコメントに追記する。学校という施設はあくまでも子供たちの教育機関であるべきで、地域コミュニティの交流拠点とか、避難所など多様な機能を寄せ集めて個別に併設させるのではなく、必ず子供たちの教育と連携させた施設にすべきだと思う。

地域について

- ・ 時代を映すニュータウンと言う特性地域に在住のものとしては、衰退の認識が増すばかり。所属自治会散見するに、老々介護の様相が否めないし、自治会運営自体が過大な労となっている。防犯活動の一環で早朝通学時の通学路朝立ちにおいても、他自治会の子供数人の状況、上部広域連携化した自治会運営も参加限界、脱退の模索も要する状況。午後の放課後においても、グラウンド、体育館での盛んな部活動が見られなくなった。児童の人数集約は重要だと思う。但し、本末転倒とせず、緊急避難場所となっている点を並列の観点として扱うべき。人、時に児童以上に高齢者、要介護者の避難に至近性は重要。その為、学校跡地について、体育館のみ等を避難所として残存させる事も検討課題と考える。
- ・ 若い人が多く住む町づくり。
- ・ 人口減少などで様々な「困り事」が多世代で出てきています。学校が地域の中心となる事で、子どもを守ることにともなわれます。多世代コミュニティの中心としても、人の出入りがある事で防犯にも繋がり、グルッポやノキシタプレイスのように、相談機能も複合的に入れる事で、情報共有につながり、地域づくりにも役立ちます。そうする事で住民の意識が育つきっかけになるのでは、と考えます。

その他

- ・ 学校の配置や規模を見直すにあたっては、人的資源等を集中させることによる経費の削減についても議論が出てくるとおもいますが、削減するのかどうか、削減したならその分を何に使うのか等、財政面に全く触れていない（説明がない）今回のアンケートに疑問を感じる。見直しありきのアンケートになっているのではないか。
- ・ 空き家の有効活用（貸家として、又は再販など）を促し、子育て世代に住み易い街作りを推進するなど都市計画レベルでまんべんなく子供が住まう活気あふれる春日井市になれば良いと思います。
- ・ 石尾+東高森、中央+高森+押沢、玉川+高座で良いと思う。小牧市桃花台も歴史ある篠岡小を廃校してまで統合に向かっている。春日井市は動き出すのが遅すぎる。
- ・ 地域性が有り、子供にとっても親にとっても、登下校を含め地ならしが必要です。

◆押沢台小（21 件）

うち、学校教育（8 件）、通学（9 件）、学校設備（1 件）、地域（2 件）、その他（1 件）

学校教育について

- ・ いじめや不登校の子ども減らすために、先生が楽しい授業をできるような環境改善をお願いします。
- ・ クラスの数の問題もあるが、そもそも一クラスあたりの人数が多いと思う。国の決まりもあるが各市、各県で決めることが出来るといいなあと。孫は一年生から卒業まで一クラスだった。それはそれで団結力があったり、一人一人を六年間見ている訳で良い面もあったと思う。ただ、あと一人で二クラスという人数だと先生も余裕がない。校舎にはかつて教室だった部屋も余ってるんだから少人数でのクラス編成でいろんなところに目が届く教育をしてもらいたいな。それには教師の人数を増やさないといけない問題も出てきますが、これからの日本を生きる子どもたちの為により良い教育ができる、何より子どもが好きで愛情を持って教育できる人材を送るために税金を使ってほしいと思う。
- ・ クラス替えが出来る体制を整えたいと言っても、小学校低学年に長距離を歩かせる事になったり、事故が起こりやすい環境を作ってしまったら本末転倒なので、良く考えて頂きたい。
頂いた資料にクラス替えが可能になることによるメリットが記載してあったが、それなら少人数制の方が配慮出来るのでは？とかクラス替えをしても出来るとは限らない項目や、教員の人数が少ないのに負担はどうか？とかベテラン(能力のある)の先生の確保が必須な項目などもあり本当に大丈夫なのかと疑問視する項目が多々ありました。そもそもクラス替えが出来ない関係で縦割り班を作り、子供達の成長を促してもいると思うのですが？こればかりは市が行いたいからではなく、これからお子さん方を小中学校に通わせる親御さん、今通わせている親御さん、今通っている子供達の意見をくみ取って頂きたいと思います。長文失礼致しました。
- ・ 近くの学校と交歓学習などする。
- ・ 学校は子供たちがまず社会性を学ぶところ、大勢の人たちが集まった社会環境を作ることが重要だと思う。
- ・ 当地区の少子化が進む中で一定レベル以上の小学校教育を進めるためには統合メリットを活かすべきです。石尾台、押沢台、玉野を一つのエリアとして押沢台に統合し、より良い教育環境を実現させるべきと思います。現 3 校の教育理念、指導要領、通学方法と安全確保、校舎・設備の老朽化対策、地域住民の感情などで反対意見も多く出るとは思いますが、子供達の未来を守るための教育投資として地域全体で進めましょう。
- ・ 藤山台校区の統合にご苦労されたことは聞いております。私たち地域の者は将来の子どもたちの育っていく環境をよくするために協力することが絶対条件だと考えます。私たちの出来ない事を進めていただいている事に感謝をいたします。
- ・ 春日井でも、地域によって解決すべき課題が大きく異なっている。
市一律ではなく、それぞれの地区において、より良い解決方法を流動的に実施できるように進んでいければ望ましいと考える。

◆押沢台小

通学について

- ・「玉川小-押沢台小-石尾台小」は、長い急坂が多い、および学校間の距離が離れすぎているので、通学の負担が大きすぎ、まとめることはできない。
- ・我が家の子供達は押沢台の小中ではありませんが、マンモス校の出身です。私自身も世代的にマンモス校でした。色々な考えの子供達の中で過ごす小中での生活は少ない生徒数より、ある程度人数が多い方が集団生活も学べて良かったと思っています。ただ、統廃合で通学距離が遠くなるのは子供達にとっての負担が大きいと思いますのでその点は配慮が必要になる事だとも思います。
- ・学校を統合する事はしょうがないかもしれないけど、それによって登下校の距離がすごく遠くなる場合は、町などの区切りで一律で決めるのではなく、近い方の学校を選べるとか、町の真ん中で切るとか、考えるべきだと思う。
- ・規模を考えると一学年2クラス以上が望ましいと思う。クラス替えの度に生徒が新しい人間関係を作る環境は必要。学校を統合すると遠距離通学を強いられる生徒が発生することから、スクールバスや通学補助費などの整備をすると望ましいと思う。
- ・今の中学校の校区のまま小学校を減らすことにはかなり遠くなる児童が出てくるため反対です。
- ・今までの学区を守ることも 登下校の安全やかかる時間を優先して見直ししてほしい。
- ・少人数での1クラス制にもメリットはたくさんあると思いますが、もしイジメや問題が起こった場合逃げ場がないので、クラス替えができる方が良いと思います。ただし、適正規模だけを考えるのではなく、統合するのであれば、坂道ばかりの地域では低学年の子供達にスクールバスを出すなど、登下校への配慮は必要だと思います。
- ・通学が大変にならないように検討して欲しい。通学が安全にできるように検討して欲しい。
- ・統合により低学年の登下校が困難になる事が気になる。

学校設備について

- ・廃校となる校舎及び校庭の利用方法。耐用年数が過ぎているか、近い場合は取り壊し、コミュニティの施設を新設することを検討してほしい。

地域について

- ・子供達がお世話になった学校が無くなるのは大変寂しいですが、少子化のこの時代、校区の再編が行われることはやむを得ないと考えます。統合後の学校跡地がどうなるのかが気になります。夏祭りなどのイベントに利用できて、地域のコミュニティの中心地となるような施設ができるのなら、賛同したいです。
- ・小学校の統合が避けられないと考えているが、現在、小学校は地域活動の核的な存在である。統合により当地域に小学校がなくなった状況で、現小学校地域を対象とした地域活動がうまく実施できるか不安である。

その他

- ・自由記載の趣旨とはズレるかもしれませんが、このアンケートの回答の選択肢では、学校規模や配置を見直すことが良いと思われる項目が上位にきていたり、あらかじめ2学級あることが良い、と提示されてから回答することになっていたりして、アンケート結果が“進める”方に傾くことは必然ではないでしょうか？。結果は誘導されていると感じますが、どうでしょうか？アンケートの目的に疑問を感じました。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp

地域アンケート結果（岩成台中学校区）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり地域の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年6月26日（木）から7月13日（日）まで
対象者	岩成台中学校区（岩成台小、岩成台西小学校区）の住民
実施方法	インターネットアンケート
回答数	67人（岩成台小：34人、岩成台西小：33人）

1	お住まいの小中学校区を選択してください。
2	あなたの年齢を選択してください。
3	あなたは、小中学校の児童生徒の保護者、未就学児の保護者を対象に実施したアンケートにご協力いただきましたか。

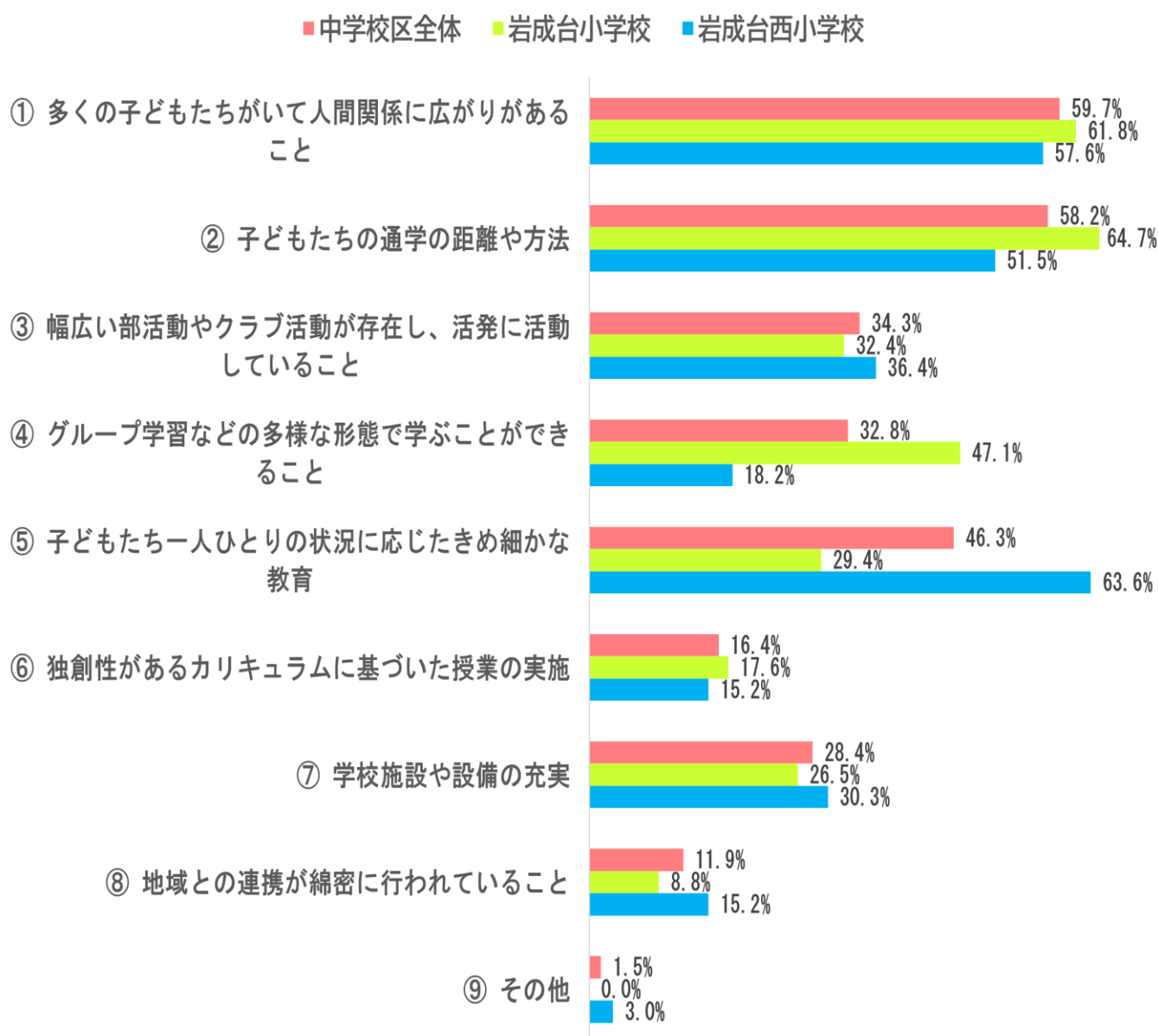
学校区	回答数	回答数の年代別内訳							保護者アンケート 回答の有無
		20歳以下	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳以上	
岩成台小	34人	1人	1人	7人	7人	7人	5人	6人	はい：6人 いいえ：28人
岩成台西小	33人	0人	1人	3人	4人	11人	6人	8人	はい：6人 いいえ：27人
計	67人	1人	2人	10人	11人	18人	11人	14人	はい：12人 いいえ：55人

地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

2校ともに「① 多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」、「② 子どもたちの通学の距離や方法」が多く選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、岩成台小では「④ グループ学習などの多様な形態で学ぶことができること」、岩成台西小では「⑤ 子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」も多くの方が選んでいます。



「⑨ その他」の回答

◆岩成台西小

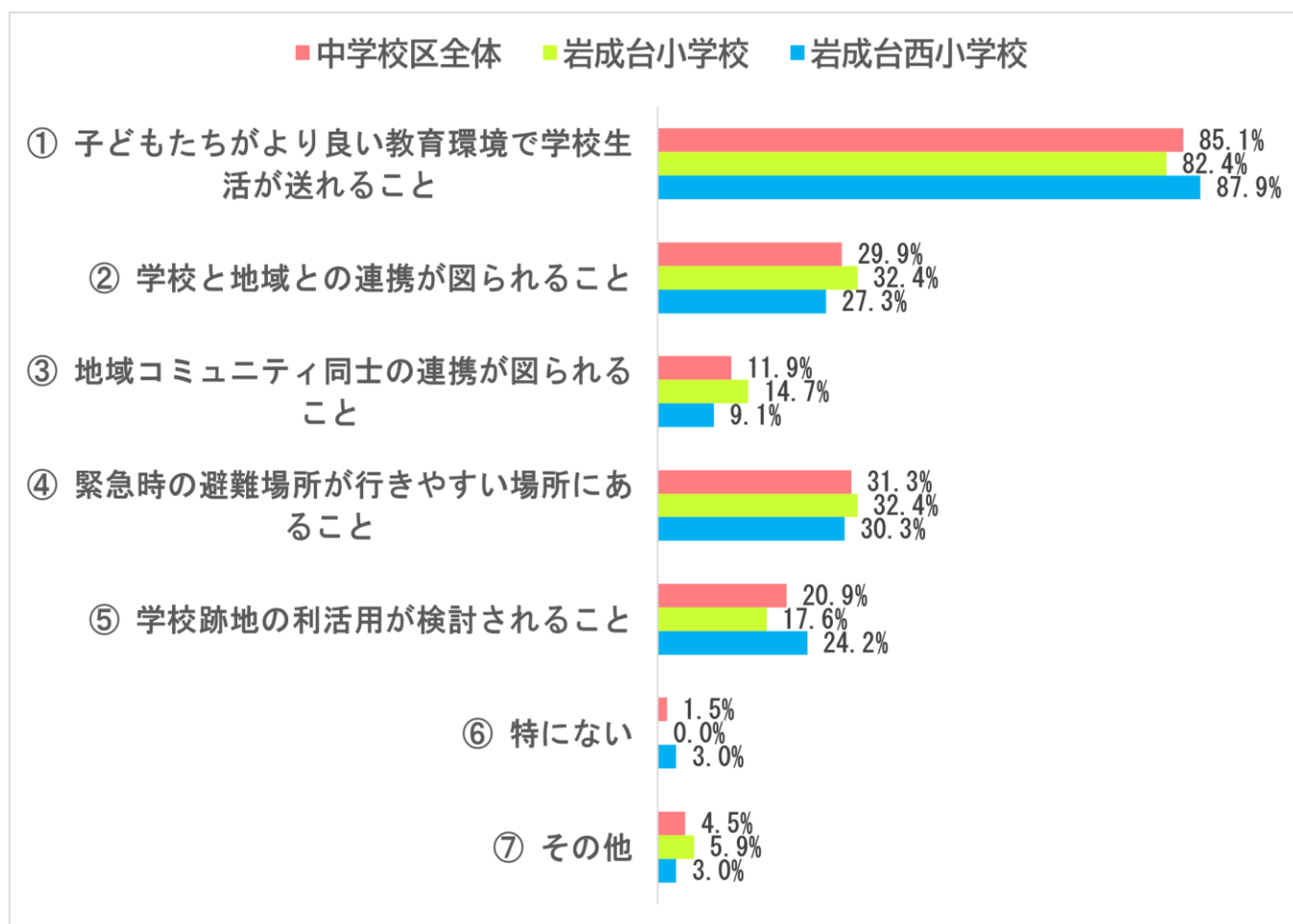
- ・子どもたちが、近くの学校に、毎日楽しく通えること。ルールや時間で縛るのではなく、子どもたちの考えを、自由度を、尊重する学校であること。不登校の増加から学校のあり方を見直す時。低学年は通知表の評価も必要かどうか考え直すとき。

学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって、重要と思うことを次の項目から選択してください。(2つまで)

●回答結果の概要

2校ともに「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活が送れること」が最も多く選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と概ね同様の傾向となっています。



「⑦ その他」の回答

◆岩成台小

- ・学校跡地に中規模スーパーの誘致。コミュニティ施設はこれ以上必要ない。
- ・通学時間を考慮にいていただきたい。統合される場合はどちらかに吸収されることになるから吸収された方は通学時間が掛かり過ぎる心配がある。

◆岩成台西小

- ・その土地々々の歴史的な流れがある。子どもの数だけで線を引くのではなく、その地域のいじめ不登校などの実情、今まさにその地域で登校している方々のご意見を一番に取り上げるべき！

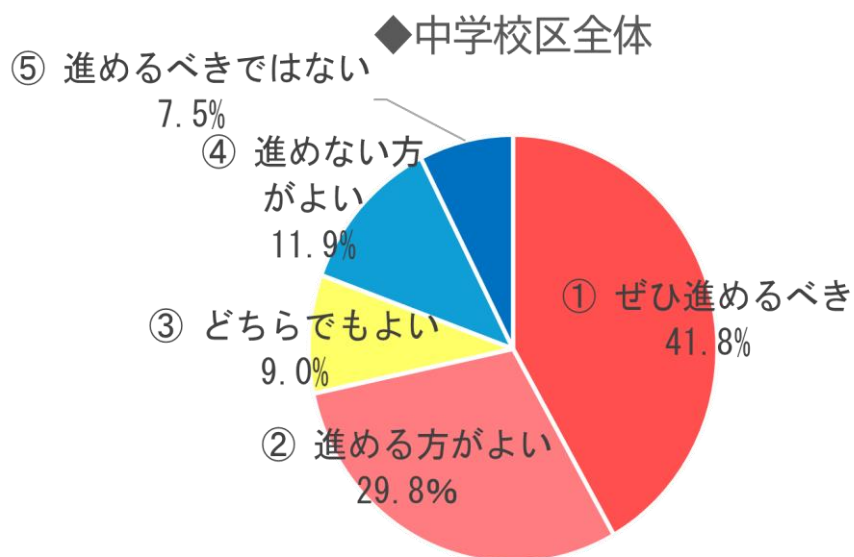
市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

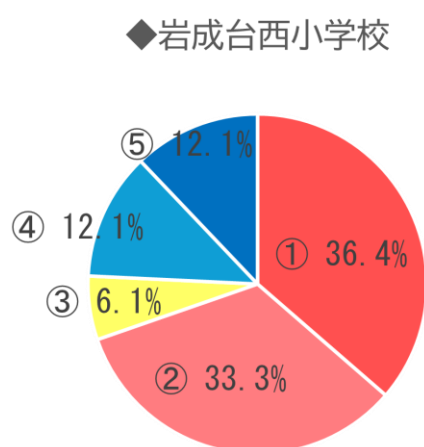
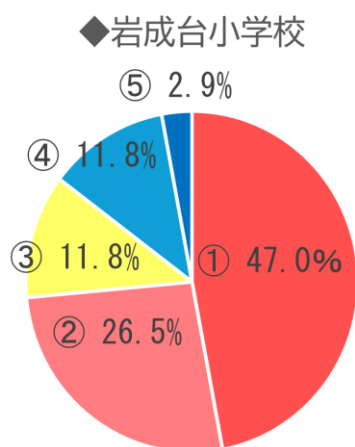
71.6%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

19.4%の方が「④ 進めないほうがよい」又は「⑤ 進めるべきではない」と考えています。

①又は②を選んだ方の割合は2校とも約7割であるものの、④又は⑤を選んだ方の割合では、対象の12校の中で、岩成台西小（24.2%）は3番目に高くなっています。



■ ① ぜひ進めるべき ■ ② 進める方がよい ■ ③ どちらでもよい ■ ④ 進めないほうがよい ■ ⑤ 進めるべきではない

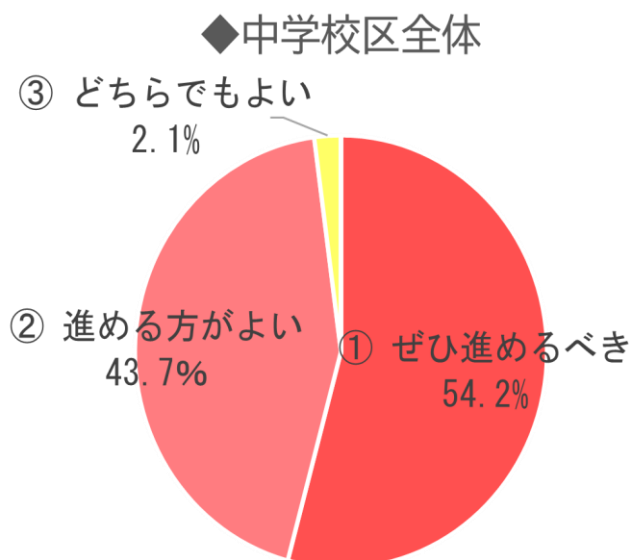


6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。
(1つ)

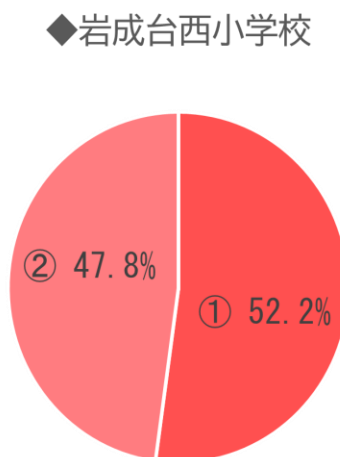
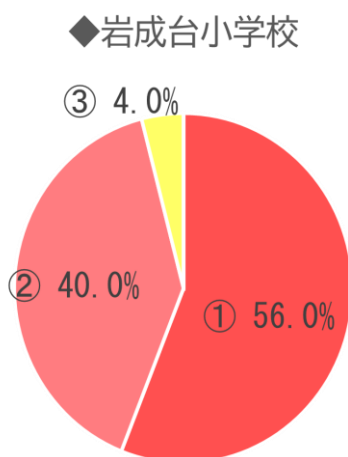
●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の97.9%が、「お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むこと」に賛成しています。

6の質問で①又は②を選んだ方のうち、「④ 進めない方がよい」「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。



■ ① ぜひ進めるべき ■ ② 進める方がよい ■ ③ どちらでもよい ■ ④ 進めない方がよい ■ ⑤ 進めるべきではない

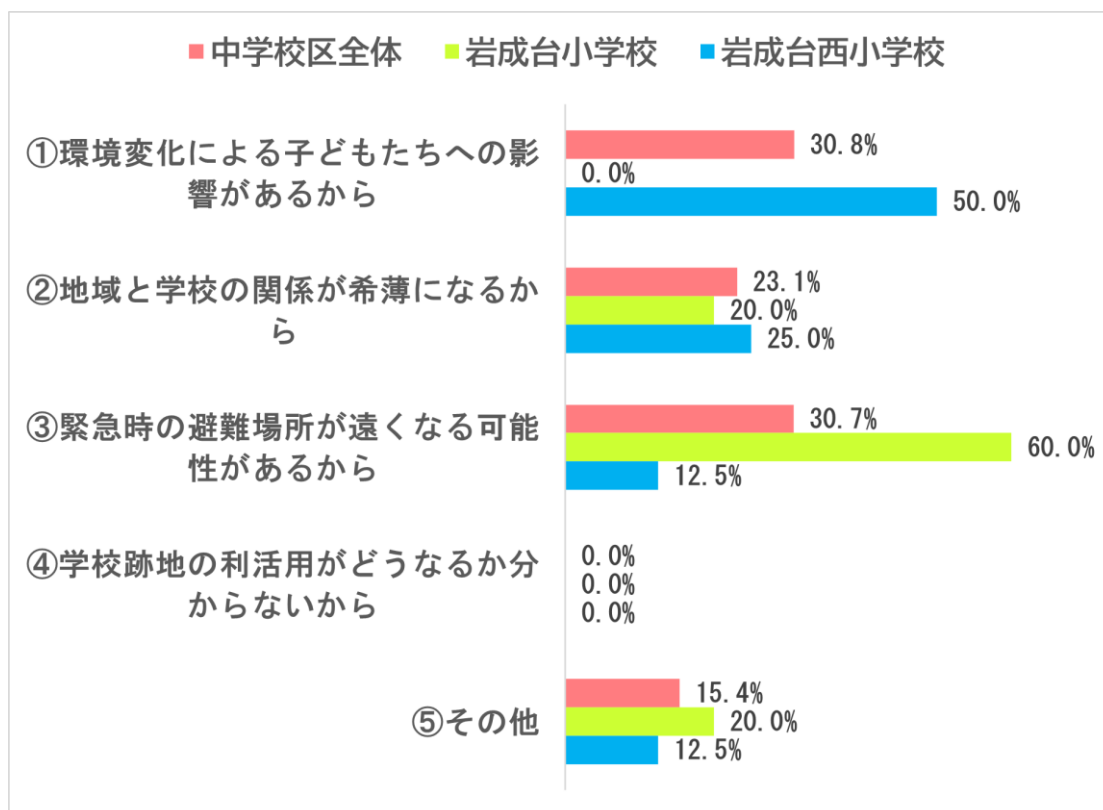


6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は13人で、「① 環境変化による子どもたちへの影響があるから」、「③ 緊急時の避難場所が遠くなる可能性があるから」が多く選ばれています。

地域アンケート結果（地域全体）と比較すると、岩成台小では③、岩成台西小では①を多くの方が選んでいます。



「⑤ その他」の回答

◆岩成台小

- ・地域に小学校がなくなるとますます地域が錆びれていく。

◆岩成台西小

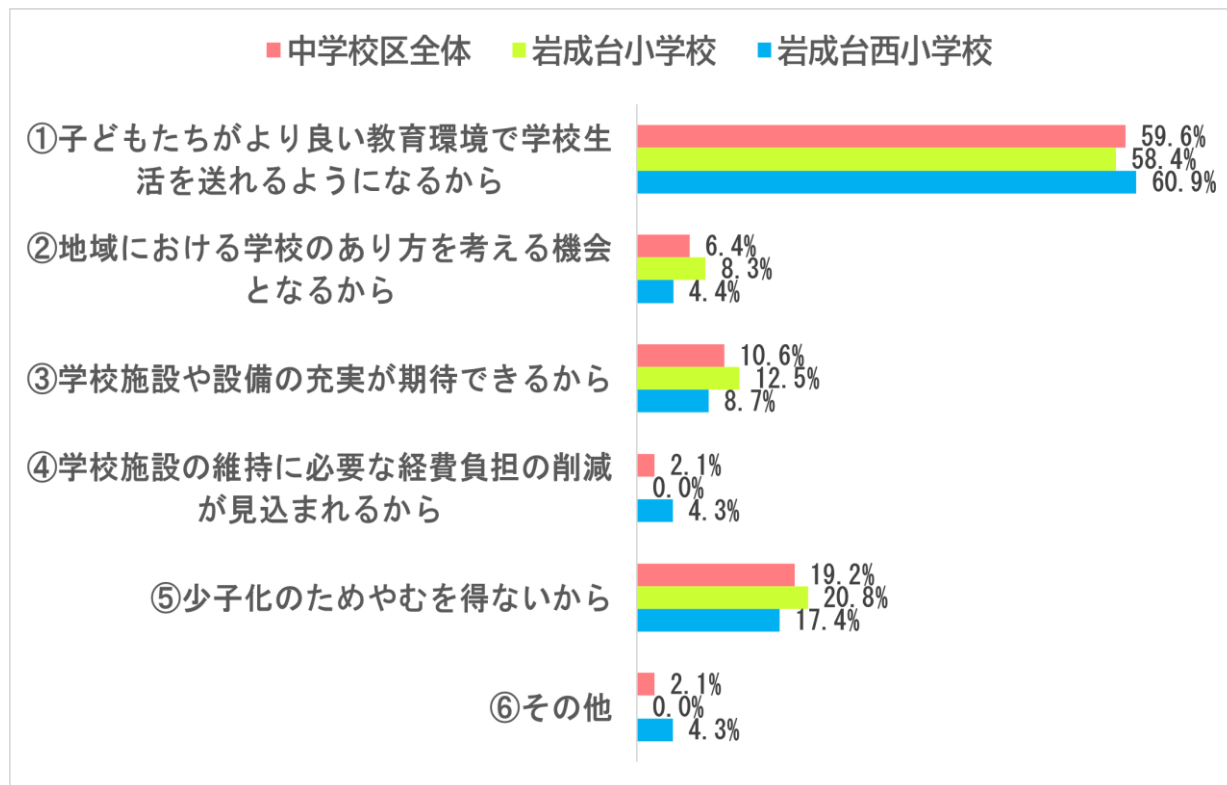
- ・一律に決めるべきではない。地域の実情を聞くべき。子どもが通いやすい近いところに行くことと、地域主体で他の実情を考え合わせる事が必要。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で、「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」を選んだ方の多くが、「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れるようになるから」を選んでいました。

地域アンケート結果（地域全体）と概ね同様の傾向となっています。



「⑥ その他」の回答

◆岩成台西小

- ・いわゆる「地元の友達」は一生もので人格形成に強く影響すると考える。子どもに合った良き友達に出会える可能性を高めたいため。

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

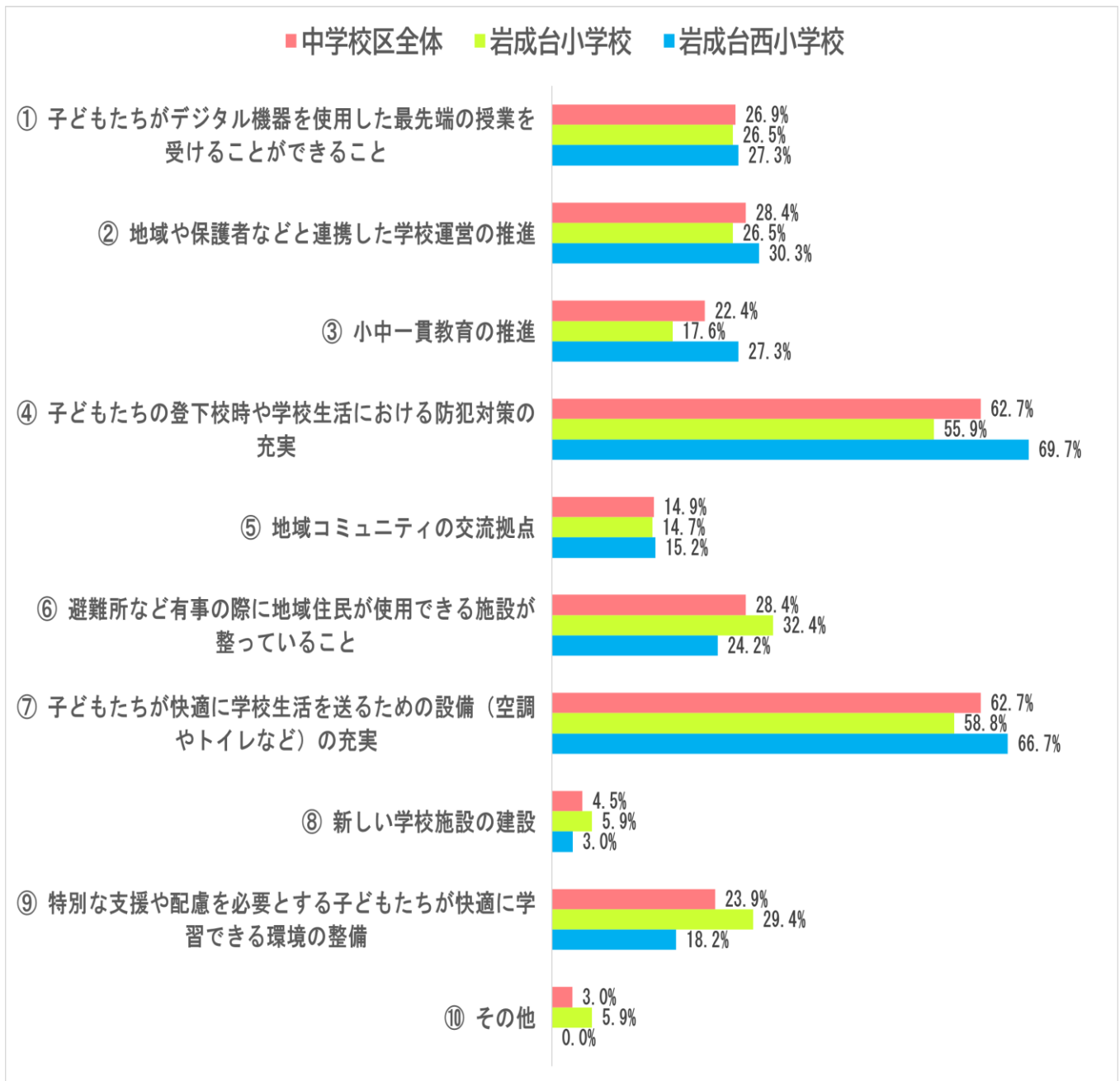
●回答結果の概要

7-1の質問で、「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方がいなかったため、回答者はいません。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「④ 子どもたちの登下校時や学校生活における防犯対策の充実」と「⑦ 子どもたちが快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」が同値で最も多く選ばれています。



「⑩ その他」の回答

◆岩成台小

- ・教員の指導力向上。
- ・通学児童生徒のためのスクールバスの運行。

◆岩成台小 (11 件)

うち、学校教育 (4 件)、通学 (4 件)、学校設備 (2 件)、地域 (0 件)、その他 (1 件)

学校教育について

- ・外国人の子供達の受け入れも今後の教育や施設給食等これからは必要不可欠ではないでしょうか、学校は小中一貫にすることによって学校維持費が少なくなると思います。
- ・岩成台中学校はクラス数が少なく、部活動の数が少ないので、入りたい部活がない。通常ある野球部やバスケット部が人が足りないから存在しない。他の学校で所属するのはハードルが高い。岩成台中学校と藤山台中学校を統合してほしいです。かなりの至近距離にあり、統合していない事が不思議である。
- ・特別支援教室ではできたらマンツーマン教育にしてほしい。ハンディーキャップを持っている方がいいものを伸ばしていけるような環境を作してほしい。
- ・隣の学区が 5 クラスあるのに、子供のクラスが 1、2 クラスしかないあまりの格差に驚いた。学童問題もありますが適正に進めていただけると助かります。

通学について

- ・一学年二学級以上の編成にする為に、通学時間、距離等が大幅にかかったりすると、ちょっと問題ではないのかなと思う。
- ・再配置後の通学で保護者がタクシー代わりにならないように、利便性の高いスクールバスの運行。高蔵寺ニュータウンはアップダウンが多いので、そもそも徒歩通学に向いていない。
- ・通学区域が道路等で近所の子と異なる学校になる場合は線引きでなく弾力的に扱って欲しいです。
- ・統合により施設費、人件費などかなりの節約が見込まれると思いますので、学校が遠くなる子たちの登下校時の安全にもお金を投入していただきたいです。

学校設備について

- ・子供が小学校へ通っていた頃は、6 年間 1 クラスしかなく、クラス変えがない為人間関係の幅が広がらないことを残念に思っていた。学校内のトイレの汚さには驚いたので衛生面はもう少ししっかり整えてもらいたいと思っていた。
- ・昭和時代の校舎のままでは可哀想過ぎます。近代的設備の教育環境で学ばせてあげたい。

その他

- ・統廃合ありきのアンケートですね。仕方がない事と思いますが、定型の漠然とした質問を聞くより、そこに住む人の意見を聞いた方がいいと思います。小中一貫について…9 年間ずっと同じ環境(人間関係)で過ごす事は、うまくいってれば良いのですが一度トラブルが起こるとストレスに感じると思います。一学年 7 クラスくらいあれば別ですが。小中一貫ができたり中高一貫ができたり、地域差を産むだけのような気がします。

◆岩成台西小（13件）

うち、学校教育（2件）、通学（6件）、学校設備（1件）、地域（0件）、その他（4件）

学校教育について

- ・まずは、中学校校区の見直しが最優先と考えます。小学校から3校ずつが集まる程度。学校は様々な人との関わりを学ぶ場でもあります。早急に考えていく案件だと思います。
- ・統合、併合だけでなく、学年をまとめて勉強する教室はどうか？過疎地ではそんな教室もある。

通学について

- ・学区の境はどのように分けても、必ず端があり、特に小学校区は徒歩で通学するのでその配慮は必要。その観点から小学校区の統合には最大限配慮を行うべき。
- ・学年ごとの生徒数が地域によって差がありなかなか難しい課題であると思います。地域の理解も必要、学校の距離の問題もスクールバスの導入など検討も必要と思います。
- ・見直しすることでいちばん心配なのは、通学距離です。どうしても学校までが遠くなる児童が出てくるので事故や犯罪が心配。スクールバスなどをぜひ取り入れてほしいです。
- ・子どもたちが通学を安心して適正な距離を歩いて通学できることが第一だと考え、学区の合併により保護者が付き添い通学しなければならないなどの状況が起こらないよう配慮すべき。
- ・通学にかかる時間が長い地域があるので、出来るだけ近い学校へ行けるように学校区を見直していただきたいと思います。境界付近の場合は学校を選択できるようになると良いと思います。このような取り組みは素晴らしいと思います。ありがとうございます。色々のご苦労があるかと思いますが、よろしくをお願いします。
- ・特に小学校 低学年の子供さんは、体力面を考慮して歩く距離が2 km 以内におさえて欲しい。多くの学友と接触する時間を取らせて欲しい。（前者意見 優先）

学校設備について

- ・学校の教室一部屋ずつ、防犯カメラの設置が必要だと思います。ニュースであるような事件やいじめ防止にも繋がると思います。

その他

- ・ニュータウン地区では濃淡の差はあれど概ね少子化が著しく、学校の統廃合を考えなくてはいけない状況と承知しています。廃校跡地の活用として好事例が2例ほどありますが、共働き世帯の増加にともない放課後の子どもたちの居場所も併せて配慮いただければと思います。上記の廃校跡地でのスペース設置などもご検討いただくと安全面、保護者の利便性ともに満たせるのではないかと考えます。
- ・規模、配置の見直しは優先的に行っていただきたい。対処が遅れるとより深刻な問題となりそう。学校跡地を利用して子育て世帯をサポートするための施設ができると嬉しい。
- ・見直すことで経費削減に繋がるのであれば、進めるべきだと思います。
- ・小、中学に通う子は居ませんが発達障害やグレーゾーンの子が地元の学校でより良い教育が受けられるといいです。幼稚園で仲が良く家が近くても学校区が違って離れてしまうこともあるようです。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp